Wireless LAN PCIA-11

取扱説明書

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M7044-00 Rev.A 001129

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

異物、水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水がかかったり、異物が触れないように注意してください。万一水がかかったり、異物が触れた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

取り付け・取り外しのときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントに差したままでは、コンピュータに電気が流れています。感電の恐れがありますので、取り付け、取り外し作業を行う前には、必ず電源プラグを抜いてください。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 95%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

シンナー類不可

この度は、「corega Wireless LAN PCIA-11」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにご覧いただくため、大切に保管くださいますようお願いいたします。

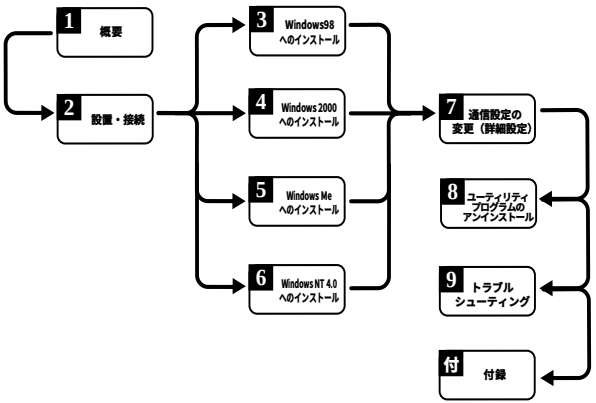
内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は下記のとおりです（下記以外に添付紙が同梱されている場合もあります）。お買い上げの商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- corega Wireless LAN PCIA-11本体
- 無線アンテナ（動作時には、必ず取り付けてご使用ください）
- セットアップユーティリティディスク（2枚）
- 取扱説明書（本書）
- シリアル番号シール（予備）

本書の構成

このマニュアルは次図のような構成になっています。ご使用のオペレーティングシステム（OS）に応じて、次のように読み進んでください。



ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、フロッピーディスクドライブを「A:」、起動ハードディスクドライブを「C:」、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場合は、適宜読み替えてください。

電波に関する注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また設置の前に、「安全のために」を必ずお読みください。

- 心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等 の産業・科 学・医療機器のほか工場の製造ラインで使用されている移動体 識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速や かに電波の発射を停止した上、弊社サポー トセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等についてご相談して下さい。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターにお問い合わせ下さい。

目次

1 概要 8

1.1 特長 8
1.2 動作環境 8
1.2.1 対応コンピュータ機種 8
1.2.2 対応オペレーティングシステム 9
1.3 本製品を使用する前の注意事項 9
1.4 各部の名称と働き 10
1.5 ドライバーディスク 12

2 取り付け、取り外し 13

2.1 取り付け 13
2.2 取り外し 14

3 Windows 98 へのインストール 16

3.1 ドライバーの新規インストール 16
3.2 インストール後の確認 19
3.3 ユーティリティープログラムのインストール 21
3.4 ドライバーの更新 26
3.5 ドライバーの削除 29
3.6 ドライバーの再インストール 30
3.7 本製品をご使用になる環境 30

4 Windows 2000 へのインストール 31

4.1 ドライバーの新規インストール 31
4.2 インストール後の確認 34
4.3 ユーティリティープログラムのインストール 36
4.4 ドライバーの更新 42
4.5 ドライバーの削除 45
4.6 本製品を一時的に使用しないとき 46
4.7 ドライバーの再インストール 47
4.8 本製品をご使用になる環境 47

5 Windows Me へのインストール 48

5.1 ドライバーの新規インストール 48
5.2 インストール後の確認 51
5.3 ユーティリティープログラムのインストール 53
5.4 ドライバーの更新 58
5.5 ドライバーの削除 62
5.6 ドライバーの再インストール 62
5.7 本製品をご使用になる環境 62

6 Windows NT へのインストール 63

6.1 サービスパックの確認 63
6.2 ドライバーの新規インストール 64
6.3 インストールの確認 68

6.4 ユーティリティープログラムのインストール 69
6.5 ドライバーの削除 75
6.6 本製品を一時的に使用しない場合 75
6.7 ドライバーの再インストール 77
6.8 本製品をご使用になる環境 77

7 通信設定の変更（詳細設定） 78

7.1 Configuration Utility の起動 78
7.2 通信設定 78
7.3 セキュリティーの設定 80
7.3.1 キー文字列から WEP キー（暗号キー）を自動生成する 81
7.3.2 WEP キー（暗号キー）を直接入力する 82

8 ユーティリティープログラムのアンインストール 84

8.1 ユーティリティープログラムのアンインストール 84
8.1.1 Windows 98/Me の場合 84
8.1.2 Windows 2000/NT の場合 85

9 トラブルシューティング 88

9.1 Windows 98/2000/Me/NT4.0 共通 88
9.2 Windows 2000/NT 共通 91
9.3 Windows 2000 91
9.4 Windows NT 92

付録 A 製品仕様 93

付録 B 保証と修理について 94

B.1 保証について 94
B.2 修理について 94

付録 C ユーザーサポート 95

C.1 調査依頼書の記入について 95
C.2 システムリソースレポート添付のお願い 96

付録 D 最新ドライバーの入手方法 97

付録 E 「corega Net-News」のご案内 97

1 概要

1.1 特長

corega WL PCIA-11 LAN Adapter（以下、本製品と略記）は、以下の特長を持つ PCI バス用の無線 LAN アダプターです。

- PCI バス Ver2.1以上の PCIバスインターフェースを持つパソコン機種で、パソコン無線 LAN 環境を実現

1.2 動作環境

1.2.1 対応コンピュータ機種

本製品は、以下のコンピュータ機種に対応しています。

- PC/AT 互換機（DOS/V 機）
- NEC PC98-NX シリーズ

NEC PC-9800/9821 シリーズには対応していません。

コンピュータの機種によっては、レジューム / サスペンドあるいはスタンバイ機能を使用したときに、本製品の動作が不安定になる可能性があります。そのときは、これらの機能を無効にしてください。

本製品を Windows NT 4.0 で使用するときは、サービスパック 3 以上がインストールされている必要があります。「6.1 サービスパックの確認」の手順を参照して、正しいサービスパックがインストールされていることを確認してください。
サービスパックがインストールされていないとき、またはサービスパック 2 以下がインストールされているときは、サービスパック 3 以上をインストールしてください。

1.2.2 対応オペレーティングシステム

本製品は、以下のオペレーティングシステム（以下OS と表記）で動作します。

- Windows98（Second Edition を含む）
- Windows Me
- Windows NT 4.0（Service Pack 3 以降）
- Windows 2000

1.3 本製品を使用する前の注意事項

本製品を使用する前に、以下の注意事項を必ずご確認ください。

■ 付属アンテナの接続について

本製品付属の無線アンテナは、必ず本製品本体カードのアンテナ接続コネクターに取り付けてご使用ください。未接続の場合は、電波動作が無くなり、通信ができません。

1.4 各部の名称と働き

本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

●本体

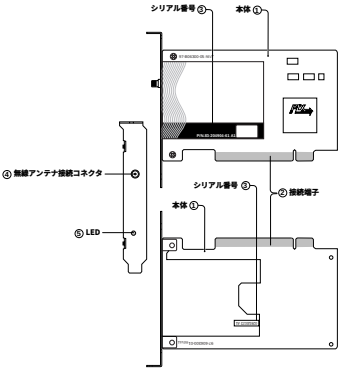


図 1.4.1　本体図

●無線アンテナ

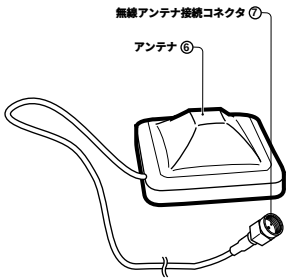


図 1.4.2　無線アンテナ図

① corega WL PCIA-11 LAN Adapter 本体

corega WL PCIA-11 LAN Adapter 本体です。

② PCI バスコネクター

コンピュータの PCI 拡張スロットに挿入します。

③ シリアル番号

本製品の シリアル番号（製造番号）とリビジョンが記 入されています。同じものが、3 枚程同梱されており、パッケージ（外箱）にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、本取扱説明書巻末の「製品保証書」に貼付してください（残りは予備です）。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

④無線アンテナ接続コネクター

付属の無線アンテナを接続します。

⑤ LED

コン ピュータの 電源がオンに なると、いったん 点灯（緑）します。お客様 のご使用モードにより、LED ランプは以下のように動作します。

・Infrastructure モード：

アクセスポイント検出時：点灯（緑）

アクセスポイント未検出時：点滅（緑）

・Ad-Hoc モード：常時点灯（緑）

⑥アンテナ

無線アンテナ本体です。本製品を動作させるためには、無線アンテナ本体を、本製品本体カードのアンテナ接続コネクターに**必ず接続する必要があります。**

注意

無線アンテナを、本製品本体カードのアンテナ接続コネクターに接続していない場合は、電波状態が悪くなり、通信不可になりますので必ず取り付けてください。

⑦無線アンテナ接続コネクター

corega WL PCIA-11 LAN Adapter本体に無線アンテナを接続するためのコネクターです。

1.5 ドライバーディスク

本製品には、2 枚のディスクが付属しています。

- セットアップユーティリティーディスク 1 of 2

  corega WL PCIA-11 LAN Adapter のドライバーが格納されています。

- セットアップユーティリティーディスク 2 of 2

  corega WL PCIA-11 LAN Adapter のユーティリティーが格納されています。

- ドライバの格納場所
  Windows 98 と Me 用ドライバーはルートディレクトリ（\）に、Windows 2000 用ドライバーは「\Win2000」ディレクトリに置かれています。また、Windows NT 用ドライバー（Windows NT 4.0 Service Pack 3 以上に対応）は、「\Windows.nt」ディレクトリに置かれています。

注意

本製品のご使用にあたっては、必ずドライバーディスクに含まれる「README.*」ファイルをお読みください。「README.*」には、この取扱説明書に記載されていない最新の情報が書かれています。

注意

\README.1ST（Read me first.）ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わることが記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

2 取り付け、取り外し

本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

本製品の内部には、最新の IC 類が使用されています。ご使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意してください。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

スタンバイ状態からの復帰時、パソコンの機種によっては、本製品が正常に動作しないものがあります。スタンバイ状態への移行、復帰状態への移行につきましては、サポート対象外とさせていただきます。

2.1 取り付け

1 コンピュータ上で動作しているソフトウェアをすべて終了し、本体の電源をオフにします。

2 コンピュータの電源プラグをコンセントから抜きます。

本製品をコンピュータの PCI 拡張スロットに取り付けるときは、必ずコンピュータの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源をオンにしたまま作業を行うと、コンピュータや本製品の故障の原因となることがあります。

3 コンピュータの本体カバーを外します。

4 スロットカバーを外します。

5 PCI バスの空きスロットを確認します。
PCI バススロットの位置は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

6 本製品を PCI バスのスロットに、しっかり奥まで差し込みます。

7 手順 4 で取り外したネジを使って、本製品を固定します。
必ずネジで本製品を固定してください。

8 コンピュータの本体カバーを取り付けます。

9 **本製品の無線アンテナコネクターにアンテナを取り付けます（無線アンテナは必ず取り付けてください）。**
本製品の無線アンテナコネクターは、出荷時は青いビニールカバーで保護されています。ビニールカバーを取り外し、無線アンテナを取り付けてください。

注意 **無線アンテナコネクターに無線アンテナのケーブル端を差し込み、付属のネジを右方向に止まるまでしっかり回してください。**

注意 **無線アンテナは、お客様の電波状態に応じて設置場所を変更してください。**

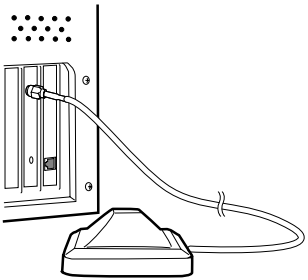


図 2.1.1　アンテナ接続

10 1 ～ 9 の手順を繰り返し、他のコンピュータにも本製品と無線アンテナを取り付けます。

2.2 取り外し

1 コンピュータ上で動作しているソフトウェアをすべて終了し、本体の電源をオフにします。

2 コンピュータの電源プラグをコンセントから抜きます。

注意 **本製品をコンピュータのPCI 拡張スロットから取り外すときは、必ずコンピュータの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源をオンにしたまま作業を行うと、コンピュータや本製品の故障の原因となることがあります。**

3 本製品の**無線アンテナコネクター**から、無線アンテナを取り外します。

4 コンピュータの本体カバーを外します。

5 本製品を固定しているネジを外し、本製品を PCI拡張スロットから取り外します。

6 コンピュータの本体カバーを取り付けます。

3 Windows 98 へのインストール

本製品のドライバーやユーティリティープログラムを Windows 98 にインストールする手順を説明し ます。ここ ではネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が、Windows 98 にまったくインストールされていない状態でインストールする手順を説明します。

インストールは以下の手順で行います。

手順 1：ドライバーをインストールする（「3.1 ドライバーの新規インストール」参照）

手順 2：ユーティリティープログラムをインストールする（「3.3 ユーティリティープログラムのインストール」参照）

手順 3：各種通信設定（詳細設定）を変更する（「7 通信設定の変更（詳細設定）」参照）

注意

以下のインストール手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。

注意

購入時に Windows 98 がすでにインストールされているコンピュータ（プリインストール版）をお使いの時は、Windows 98 のバックアップ CD-ROM が付属していることをご確認ください。付属していないときは、フロッピーディスクに Windows 98 のバックアップを取った後でインストールを始めてください。

3.1 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します。

注意

ドライバーのインストールを行う前に、Windows98 がコンピュータにインストールされていること、および本製品がコンピュータに取り付けられていること（「2 取り付け、取り外し」参照）をご確認ください。

1 コンピュータの電源をオンにします。

Windows98 が本製品を自動的に検出し、「新しいハードウエアの追加ウィザード」が起動します。本製品は「PCI Network Controller」として検出されます。

2 「次へ」をクリックします。
検索方法の選択画面が表示されます。

図 3.1.1　新しいハードウエアの追加ウィザード

3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。
検索場所の指定画面が表示されます。

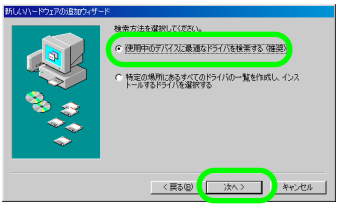


図 3.1.2　検索方法選択

4 「検索場所の指定」を選択し、検索場所に「A:\」を入力します。フロッピーディスクドライブに「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」を入れ、「次へ」をクリックします。
必ず「フロッピーディスクドライブ」、「CD-ROM ドライブ」のチェックボックスは、チェックを外してください。
ドライバーの格納場所を確認する画面が表示されます。

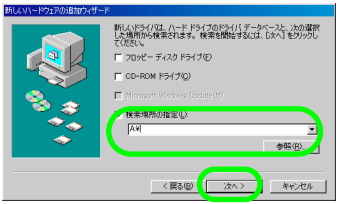


図 3.1.3　検索場所指定

「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名を示します。フロッピーディスクのドライブ名が「A:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください。

5 「ドライバがある場所」に「A:\NETCW10.INF」と表示されているのを確認し、「次へ」をクリックします。
ドライバーのインストールが始まります。

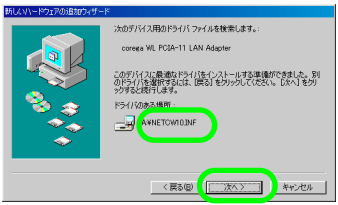


図 3.1.4　ドライバー確認

注意

インストール途中でWindows98 のシステムを要求する画面が表示されることがあります。Windows98のシステムが CD-ROMのときは、「ファイルのコピー元」に「D:\WIN98」を入力してください。(「D:」はCD-ROM ドライブのドライブ名を示します。CD-ROMのドライブ名が「D:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください。

注意

プレインストール版Windows98 のときは、「ファイルのコピー元」に「C:\windows\options\cabs」を入力してください。(「C:」は Windows98 がインストールされているハードディスクドライブ名を示します。ハードディスクドライブ名が「C:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください)。

注意

コンピュータの機種によっては、必要なファイルが「\windows\options\cabs」に見当たらないことがあります。そのときは、コンピュータのマニュアルを参照するか、スタートメニューの検索コマンドを使って拡張子「cab」のファイルが存在するディレクトリを探し、そのディレクトリを指定してください。

6 「完了」をクリックします。
コンピュータの再起動を確認する画面が表示されます。

図 3.1.5　インストール完了

7 フロッピーディスクドライブから「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」を抜き、「はい」クリックします。
コンピュータが再起動します。再起動の確認画面が表示されないときでも、Windows98 を再起動してください。
以上で本製品用のドライバーのインストールは終了です。続けてユーティリティープログラムのインストールを行ってください。

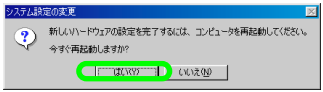


図 3.1.6　コンピュータ再起動

注意

ドライバーのインストールに続けて、必ずユーティリティープログラムのインストールを行ってください（「3.3 ユーティリティープログラムのインストール」参照）。ドライバーのインストールだけでは、本製品全ての機能は使用できません。また、アダプターの各種パラメータの設定変更は、ユーティリティープログラムから行います（「7 通信設定の変更（詳細設定）」参照）。「corega WL PCIA-11 LAN Adapter のプロパティ」の「詳細設定」からの設定変更は行わないでください。

3.2 インストール後の確認

コンピュータを再起動したら、はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1 「コントロールパネル」→「システム」を選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。インストールが正常に行われていれば「ネットワークアダプタ」の下に「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」が表示されます。

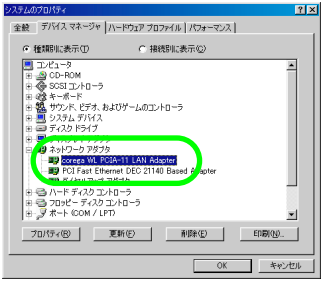


図 3.2.1　デバイスマネージャー

注意

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いていたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあるときは、インストールに失敗しています。詳しくは、「9 トラブルシューティング」をご覧ください。

2 「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」を選択（反転表示）し、「プロパティ」→「全般」を選択します。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

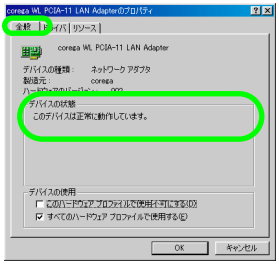


図 3.2.2　プロパティ（全般）

3 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows98 によって自動的に設定されます。「リソース」タブをクリックすると、これらを確認できます。

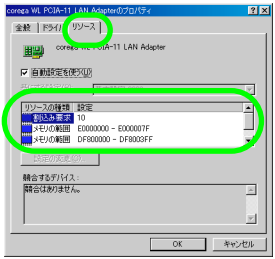


図 3.2.3　リソースの確認

3.3 ユーティリティープログラムのインストール

本製品を無線 LAN システムで使用するための、ユーティリティープログラムのインストールを行います。

注意

全ての Windows アプリケーションプログラムを終了させてから、ユーティリティープログラムのインストールを行ってください。

1 「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行 ...」を選択します。「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

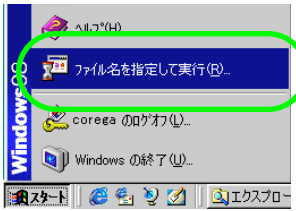


図 3.3.1　ファイル名を指定して実行

2 「名前」欄に「A:\SETUP.EXE」と入力し、「OK」をクリックします。
インストール開始画面が表示されます。

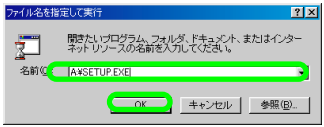


図 3.3.2　SETUP.EXE ファイル指定

「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名を示します。フロッピーディスクのドライブ名が「A:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください。

3 「次へ」をクリックします。
「ソフトウェア使用権許諾契約」画面が表示されます。

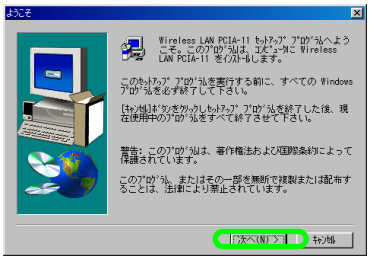


図 3.3.3　インストール開始画面

4 「ソフトウェア使用権許 諾契約」をよくお読みになり、同意の上「はい」をクリックします。

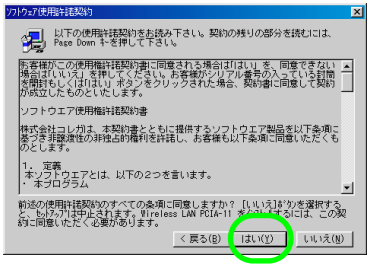


図 3.3.4　ソフトウェア使用権許諾契約

5 「SSID の入力」ダイアログボックスが表示されます。必要に応じて「SSID」を入力し、「次へ」をクリックします(「SSID」のデフォルト値は「corega WL PCC-11」です)。手順 6 で「Infrastructure」モードを設定したときに、ここで設定した SSID が有効になります。後から変更することもできます(「7 通信設定の変更(詳細設定)」参照)。「通信モードの選択」画面が表示されます。

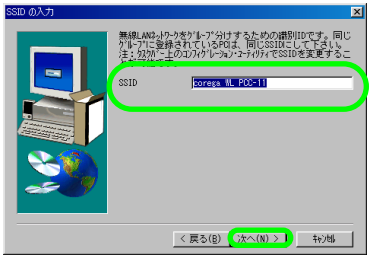


図 3.3.5 SSID 入力

注意 **ここで設定する SSID は、ご使用のアクセスポイントと同じ SSID 名を入力してください。**

注意 **「Infrastructure」モードで使用するときは、セキュリティーをかけるため、SSID をデフォルトから変更してご使用になることをお勧めします。SSID を変更するときは、ご使用アクセスポイントのSSID 名も変更する必要があります。**

6 通信モードを選択し「次へ」をクリックします。

・Ad-Hoc

本製品を取り付けたコンピュータ同士、または他の無線PC カードを取り付けたコンピュータ同士でネットワーク接続するときに選択します。アクセスポイントを使用しないときは、このモードを選択してください。

・Infrastructure

アクセスポイントを経由して他のコンピュータと通信を行うときに選択します。アクセスポイントを使用する場合は、このモードを選択してください。

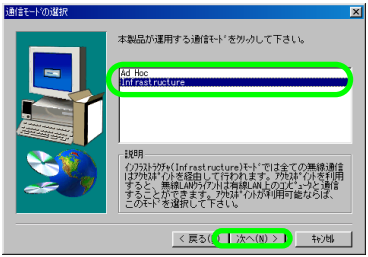


図 3.3.6　通信モード選択

7 ユーティリティープログラムのインストール先を変更しないときは、「次へ」をクリックします。
インストール先を変更したいときは、「参照 ...」をクリックして、プログラムをインストールするフォルダーを指定した後に「次へ」をクリックします。
ユーティリティープログラムのインストールが始まります。

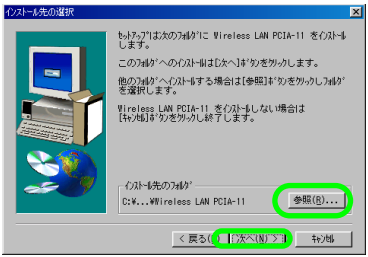


図 3.3.7　インストール先変更

8 「次のディスクの挿入」画面が表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップユーティリティーディスク 2 of 2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。
インストール中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します」という画面が表示されたときは、通常、「はい (Y)」をクリックしてください。
インストールが終了すると、「セットアップの完了」画面が表示されます。

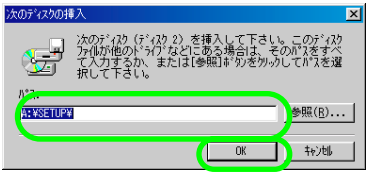


図 3.3.8　フロッピーディスク交換

9 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜いて「完了」をクリックします。
コンピュータが再起動します。ユーティリティープログラムを使用する前に、必ずコンピュータを再起動してください。

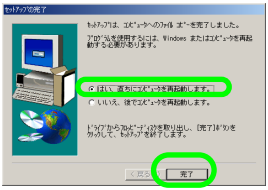


図 3.3.9　再起動確認

10 コンピュータが再起動したら、タスクトレイに無線 LAN アイコンが表示されていることを確認します。
通信モードを「Infrastructure」に設定した場合は、アクセスポイントとの接続情報に従って、表示されるアイコンが異なります。アイコンの種類は以下の通りです。

・「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が良好な場合

図 3.3.10 通信状態良好

・「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が不良な場合

図 3.3.11 通信状態不良

•「Infrastructure」モードでアクセスポイント検索中の場合

図 3.3.12 アクセスポイント検索中

11 本製品を取り付けたコンピュータ同士 (Ad-Hoc) で通信を行うために、本製品とコンピュータをもう1セット以上用意し、これまでのインストールの手順を繰り返します。

12 ネットワーク環境に応じて、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行ってください。これらの設定は、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動することにより行います。
使用するプロトコル、クライアントなどの設定が終了したら、「7 通信設定の変更 (詳細設定) 参照」に進みます。

3.4 ドライバーの更新

弊社の Web ページ (http://www.corega.co.jp/) などから最新のドライバーを入手したときは、下記の手順にしたがってドライバーを更新してください。

1 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」を選択します。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示される「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」を選択して「プロパティ」をクリックします。

2 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックします。

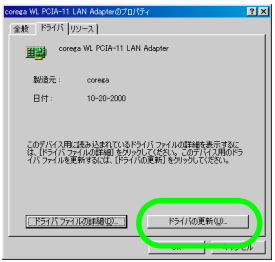


図 3.4.1　プロパティ

3 「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動したら、「次へ」をクリックします。

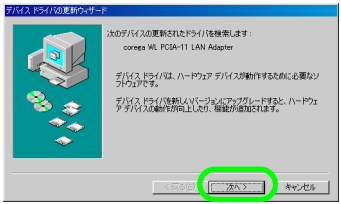


図 3.4.2　デバイスドライバーの更新ウィザード

4 「特定の場所 にあるすべてのドライバの一覧 を作成し、インス トールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。

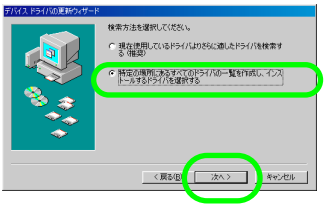


図 3.4.3　インストールするドライバーの選択

5 「ディスク使用」をクリックします。

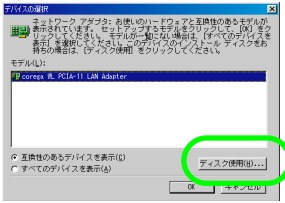


図 3.4.4　ディスク使用

6 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。

注意

最新ドライバーをご使用のコンピュータのハードディスクに保存したときは、手順 7 に進んでください。

7 「配布ファイルのコピー元」に「A:\」と入力し、「OK」をクリックします。

注意

最新ドライバーをご使用のコンピュータのハードディスクに保存したときは、最新ドライバーの保存先ディレクトリを指示してください。

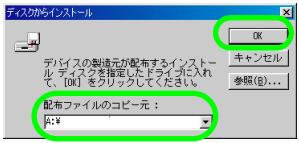


図 3.4.5　ドライバーの指定

8 「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」を選択し、「OK」をクリックします。

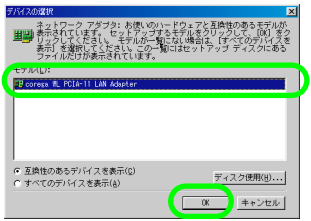


図 3.4.6　ドライバーの選択

9 画面が閉じ、いったん図 3.4.5 の画面に戻りますが、図 3.4.5 が自動的に閉じて、図 3.4.7 になるまでそのまましばらくお待ちください（1 ～ 2 分）。

10 「ドライバのある場所」が「A:\NETCW10.INF」になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

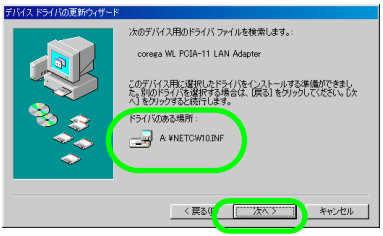


図 3.4.7　ドライバーの格納場所確認

11 必要なファイルのコピーが始まります。コピー中に Windows 98 のシステムディスクを要求する画面が表示されたときは、CD-ROM ドライブに Windows 98 のシステムディスクを挿入してください。

12「完了」をクリックします。

図 3.4.8　ドライバー更新完了

13 ドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックします。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

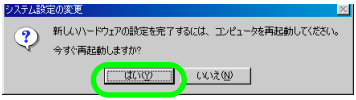


図 3.4.9　再起動の確認

3.5 ドライバーの削除

注意

ドライバーの削除を行う前に、ネットワークアプリケーションを全て終了します。「ネットワークドライブの割り当て」を行っているときは、全て切断してください。

1 「8 ユーティリティープログラムのアンインストール」を参照し、本製品のドライバーとユーティリティプログラムをアンインストールしてください。

3.6 ドライバーの再インストール

ドライバーの 再インストールを行うときは、ドライバーとユーティリティ プログラムを一旦削除して から行います。ドライバーのインストールに失敗し たときも、インスト ールされたドライバーを削除してから再インストールを行います。

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1 「8 ユーティリティープログラムのアンインストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーとユーティリティプログラムを削除します。

2 「3.1 ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールします。

3 「3.3 ユーティリティープログラムのインストール」の手順にしたがい、ユーティリティプログラムを再インストールします。

3.7 本製品をご使用になる環境

お使いのコンピュータでレジューム機能を使用しているときは、ネットワークに 接続中にコンピュータがサスペンド状態になると、ネットワークが切断されることがあります。また、省電力機能をご利用の場合も、ネットワーク動作が不安定になることがあります。このような場合は、レジューム機能，省電力機能を使用しないでください。

ネットワークに接続中に、Windows 98 のシステムスタンバイ機能を使用すると、ネットワークが切 断される、あるいはシステムスタンバイ復帰後にネット ワーク動作が不安定になること があります。この場合は、システムスタンバイ機能を使用 しないでください。

4 Windows 2000 へのインストール

本製品のドライバーやユーティリティープログラムをWindows 2000にインストールする手順を説明します。ここではネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が、Windows 2000 にまったくインストールされていない状態でインストールする手順を説明します。

インストールは以下の手順で行います。

手順 1：ドライバーをインストールする（4.1 ドライバーの新規インストール）

手順 2：ユーティリティープログラムをインストールする（4.3 ユーティリティープログラムのインストール）参照）

手順 3：各種通信設定（詳細設定）を変更する（「7 通信設定の変更（詳細設定）」参照）

注意

以下のインストール手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。

注意

アップデートインストール
すでに Windows 98 で本製品を使用している状態から、Windows 2000 にアップデートした場合は、「4.5 ドライバーの削除」「8.1 ユーティリティープログラムのアンインストール」の手順に従ってドライバーとユーティリティプログラムを削除し、「4.1 ドライバーの新規インストール」「4.3 ユーティリティープログラムのインストール」を参照して本製品のドライバとユーティリティプログラムを再インストールしてください。また、TCP/IP 情報は改めて設定し直してください。

注意

購入時に Windows 2000 がすでにインストールされているコンピュータ（プリインストール版）をお使いの時は、Windows 2000 のバックアップ CD-ROM が付属していることをご確認ください。付属していないときは、フロッピーディスクに Windows 2000 のバックアップを取った後でインストールを始めてください。

4.1 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows 2000 に新規インストールする手順を説明します。

注意

ドライバーのインストールを行う前に、Windows 2000 がコンピュータにインストールされていること、および本製品がコンピュータに取り付けられていること（「2 取り付け、取り外し」参照）をご確認ください。

1 コンピュータの電源をオンにし、「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンします。

2 Windows 2000 が本製品を自動的に検出し、「新しいハードウエアの追加ウィザード」が起動します。

3 「次へ」をクリックします。
検索方法の選択画面が表示されます。

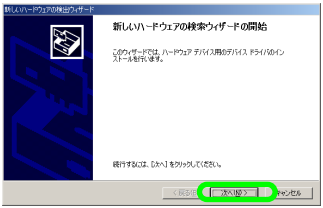


図 4.1.1　新しいハードウエアの追加ウィザード

4 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。
検索場所の指定画面が表示されます。

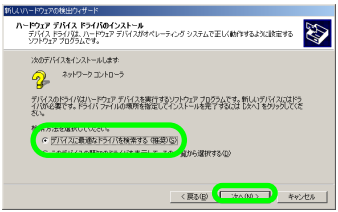


図 4.1.2　検索方法選択

5 「検索場所のオプション」で「場所を指定」のみを選択し、「次へ」をクリックします。
ドライバーの格納場所を指定する画面が表示されます。

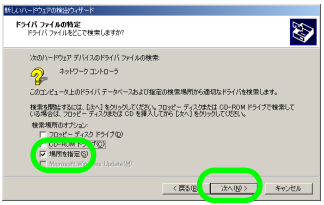


図 4.1.3　検索方法選択

6 フロッピーディスクドライブに「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」を挿入し、「製造元のファイルのコピー元」に「A:\WIN2000」を入力して「OK」をクリックします。

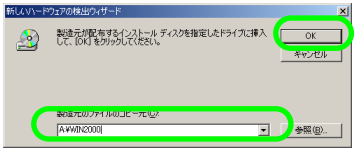


図 4.1.4　ドライバーの格納場所指定

「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名を示します。フロッピーディスクのドライブ名が「A:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください。

7 フロッピーディスクアイコンの横に「A:\WIN2000\NETCW2K.INF」と表示されているのを確認し、「次へ」をクリックします。

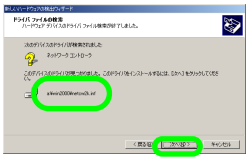


図 4.1.5　ドライバーの確認

8 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されますが、本製品は正常に動作します。「はい」をクリックします。
ドライバーのインストールが始まります。
インストールが終了すると、インストールの終了確認画面が表示されます。

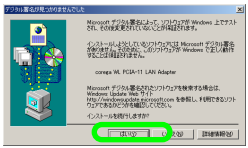


図 4.1.6　ドライバーの確認

9 「完了」をクリックします。
通常、Windows 2000 では、ドライバーのインストール後にコンピュータを再起動する必要はありません。しかしご使用環境によってはOS から再起動を求められることがあります。この場合は再起動してください。
以上で本製品用のドライバーのインストールは終了です。続けてユーティリティープログラムのインストールを行ってください。

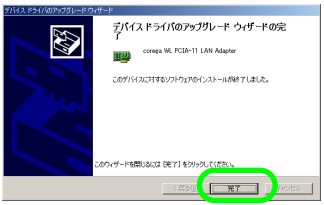


図 4.1.7　インストール終了確認

注意

ドライバーのインストールに続けて、必ずユーティリティープログラムのインストールを行ってください（「4.3 ユーティリティープログラムのインストール」参照）。ドライバーのインストールだけでは、本製品全ての機能は使用できません。また、アダプターの各種パラメータの設定変更は、ユーティリティープログラムから行います（「7 通信設定の変更（詳細設定）」参照）。「corega WL PCIA-11 LAN Adapter のプロパティ」の「詳細設定」からの設定変更は行わないでください。

4.2 インストール後の確認

インストール完了後、ドライバーが正しくインストールされていることを確認します。

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択し、「システム」をダブルクリックます。「ハードウェア」タブで「デバイスマネージャ」をクリックします。

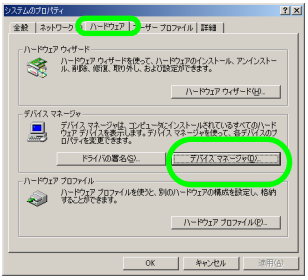


図 4.2.1　デバイスマネージャー

2 「ネットワークアダプタ」アイコン左の「+」をクリックします。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」が表示されます。

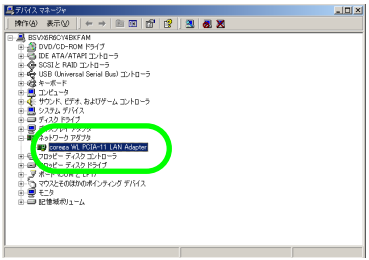


図 4.2.2　ネットワークアダプタ確認

注意

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いていたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあるときは、インストールに失敗しています。詳しくは、「9 トラブルシューティング」をご覧ください。

3 「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」をダブルクリックします。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。

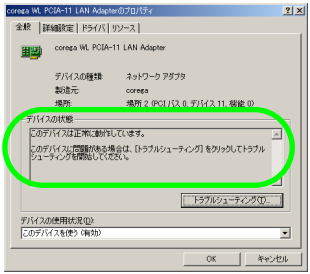


図 4.2.3　デバイスの状態

4 本製品が使用するI/O ベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows 2000 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認できます。

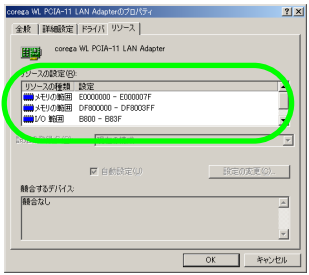


図 4.2.4　リソースの確認

4.3 ユーティリティープログラムのインストール

本製品を無線 LAN システムで使用するための、ユーティリティープログラムのインストールを行います。

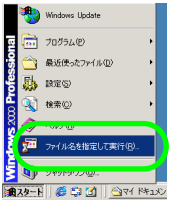
注意

全てのWindows アプリケーションプログラムを終了させてから、ユーティリティープログラムのインストールを行ってください。

注意

Windows 2000にユーティリティープログラムをインストールするときは、「Administrator 」、または「Administrator」権限の付与されたユーザーでWindows 2000 にログインしてください。「Administrator」に関する詳細については、Windows 2000のマニュアルを参照してください。

1 「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行...」を選択します。
「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。



2 「名前」欄に「A:\SETUP.EXE」と入力し、「OK」をクリックします。
インストール開始画面が表示されます。

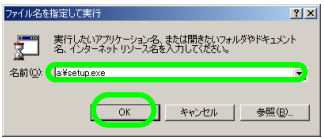


図 4.3.1　SETUP.EXE ファイル指定

「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名を示します。フロッピーディスクのドライブ名が「A:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください。

3 「次へ」をクリックします。
「ソフトウェア使用権許諾契約」画面が表示されます。

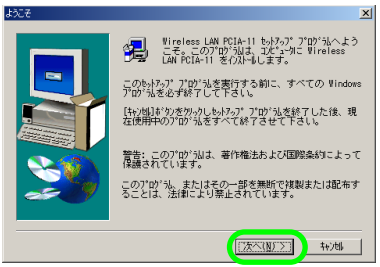


図 4.3.2　インストール開始画面

4 「ソフトウェア使用権許諾契約」をよくお読みになり、同意の上「はい」をクリックします。

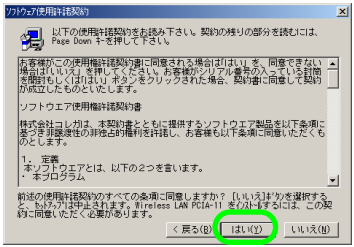


図 4.3.3　ソフトウェア使用権許諾契約

5 「SSID　の入力」ダイアログボックスが表示されます。必要に応じて「SSID」を入力し、「次へ」をクリックします（「SSID」のデフォルト値は「corega WL PCC-11」です）。手順 6 で「Infrastructure」モードを設定したときに、ここで設定した SSID が有効になります。後から変更することもできます（「7 通信設定の変更（詳細設定）」参照）。「通信モードの選択」画面が表示されます。

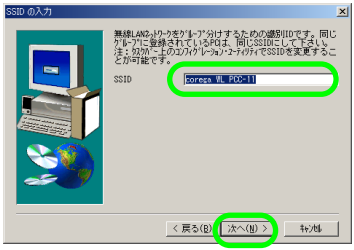


図 4.3.4　SSID 入力

注意

ここで設定する SSID は、ご使用のアクセスポイントと同じ SSID 名を入力してください。

注意

「Infrastructure」モードで使用するときは、セキュリティーをかけるため、SSID をデフォルトから変更してご使用になることをお勧めします。
SSID を変更するときは、ご使用アクセスポイントの SSID 名も変更する必要があります。

6 通信モードを選択し「次へ」をクリックします。

・Ad-Hoc

本製品を取り付けたコンピュータ同士、または他の無線 PC カードを取り付けたコンピュータ同士でネットワーク接続するときに選択します。アクセスポイントを使用しないときは、このモードを選択してください。

・Infrastructure

アクセスポイントを経由して他のコンピュータと通信を行うときに選択します。アクセスポイントを使用する場合は、このモードを選択してください。

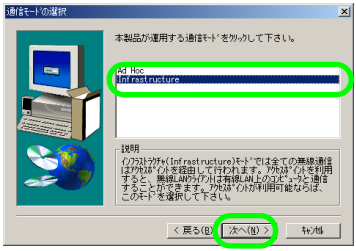


図 4.3.5　通信モード選択

7 ユーティリティープログラムのインストール先を変更しないときは、「次へ」をクリックします。

インストール先を変更したいときは、「参照 ...」をクリックして、プログラムをインストールするフォルダーを指定したあとに「次へ」をクリックします。

ユーティリティープログラムのインストールが始まります。

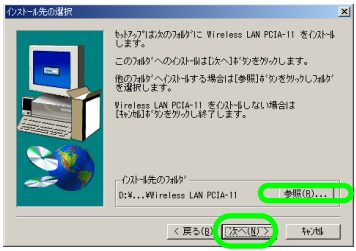


図 4.3.6　インストール先変更

8 「次のディスクの挿入」画面が表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップ ユーティリティーディスク 2 of 2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。
インストール中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します」という画面が表示されたときは、通常、「はい(Y)」をクリックしてください。
インストールが終了すると、「セットアップの完了」画面が表示されます。

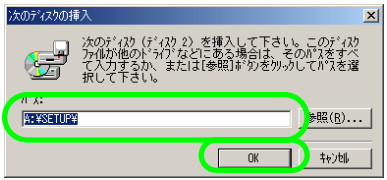


図 4.3.7　フロッピーディスク交換

9 「Configuration Utility をスタートアップに登録しますか？」という画面が表示されたら、通常は「はい」をクリックします。
「Configuration Utility」は、Administrators グループのユーザーだけが使用することができます。Administrators グループ以外のユーザーも本製品を使用する場合は、「いいえ」を選択します。
インストールが終了すると、「セットアップの完了」画面が表示されます。

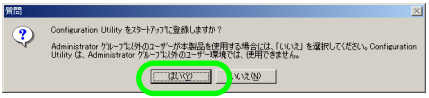


図 4.3.8　Configuration Utility の登録確認

10 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜いて「完了」をクリックします。
コンピュータが再起動します。ユーティリティープログラムを使用する前に、必ずコンピュータを再起動してください。

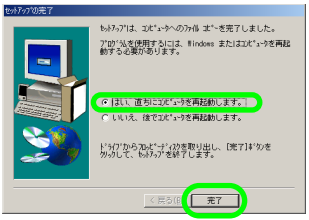


図 4.3.9　再起動確認

11 コンピュータが再起動したら、タスクトレイに無線 LAN アイコンが表示されていることを確認します。
通信モードを「Infrastructure」に設定した場合は、アクセスポイントとの接続情報に従って、表示されるアイコンが異なります。アイコンの種類は以下の通りです。

・「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が良好な場合

図 4.3.10 通信状態良好

・「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が不良な場合

図 4.3.11 通信状態不良

・「Infrastructure」モードでアクセスポイント検索中の場合

図 4.3.12 アクセスポイント検索中

12 本製品を取り付けたコンピュータ同士 (Ad-Hoc) で通信を行うために、本製品とコンピュータをもう 1セット以上用意し、これまでのインストールの手順を繰り返します。

13 ネットワーク環境に応じて、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行ってください。これらの設定は、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動することにより行います。
使用するプロトコル、クライアントなどの設定が終了したら、「7 通信設定の変更（詳細設定）参照」に進みます。

4.4 ドライバーの更新

弊社の Web ページ（http://www.corega.co.jp/）などから最新のドライバーを入手したときは、下記の手順にしたがってドライバーを更新してください。

1 「Administrator」権限でログオンしてください。

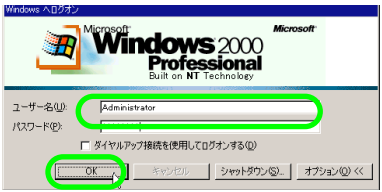


図 4.4.1　Administrator 権限でログオン

2 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示される「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」をダブルクリックします。

3 「ドライバ」を選択し、「ドライバの更新」をクリックします。

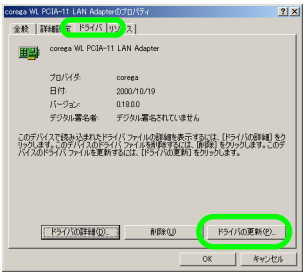


図 4.4.2　ドライバーの更新

4 「次へ」をクリックします。

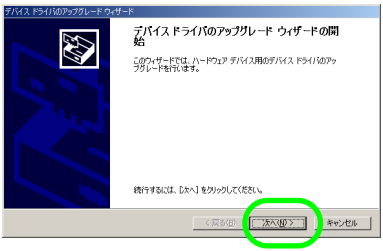


図 4.4.3　ウィザードの開始

5 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。

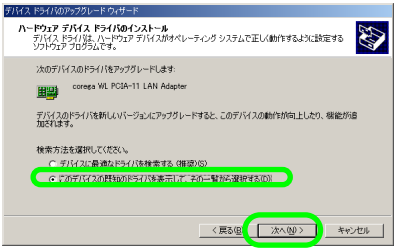


図 4.4.4　ドライバーの選択

6 「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」が選択されていることを確認し、「ディスク使用」をクリックします。

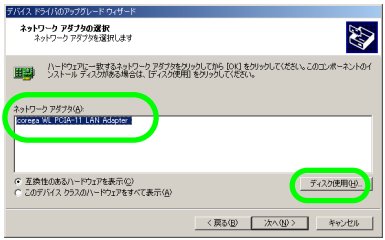


図 4.4.5　ディスク使用

7 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入してください。

8 「製造元のファイルのコピー元」に「A:\WIN2000」と入力し、「OK」をクリックします。

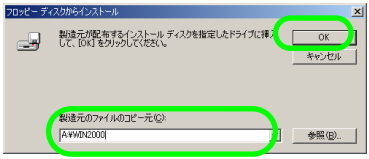


図 4.4.6　ドライバー指定

9 「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」を選択し、「次へ」をクリックします。

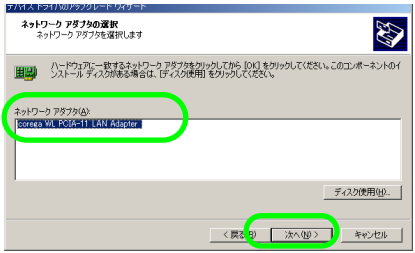


図 4.4.7　ドライバー確認

10 ハードウェアデバイスの名称が「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」となっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

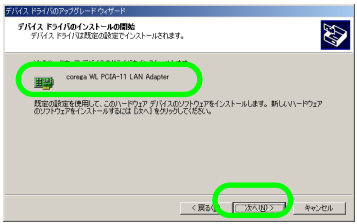


図 4.4.8　インストール開始

11 次のよう な画面が表示されることがありますが、「はい」をクリックしてインストールを続行してください。

Microsoft デジタル署名はありませんが、本製品は正常に動作します。

注意

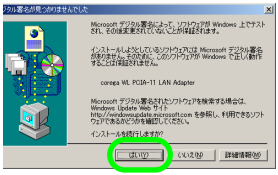


図 4.4.9　デジタル署名

12「完了」をクリックします。以上でドライバーの更新は終了です。

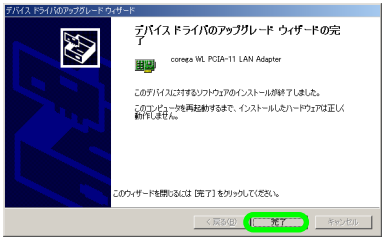


図 4.4.10　インストール完了

4.5 ドライバーの削除

ドライバーの削除は、本製品をコンピュータ から取り外してしまいたいときなどに行います。

ドライバーの削除を行う前に、ネットワークアプリケーションを全て終了します。「ネットワークドライブの割り当て」を行っているときは、全て切断してください。

注意

1 「8 ユーティリティープログラムのアンインストール 」の手順にしたがい、本製品のドライバーとユーティリティプログラムを削除します。

4.6 本製品を一時的に使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないときは、下記の手順にしたがって本製品のドライバーを無効にしてください[1]。

1 「Administrator」権限でログオンします。

2 「コントロールパネル」の「ネットワークとダイアルアップ接続」アイコンをダブルクリックします。

3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「無効にする」を選択します。

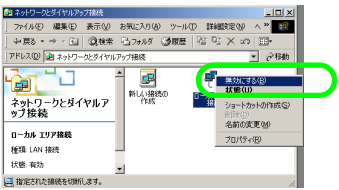


図 4.6.1 「無効にする」を選択

4 「ローカルエリア接続」がグレーで表示され、無効であることを示します。

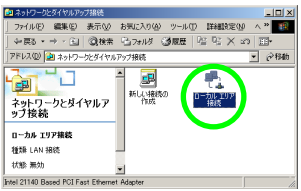


図 4.6.2 「ローカルエリア接続」をグレーで表示

1. ドライバーを有効なままにしておくと、Windows 2000 はこれをネットワークエラーとみなしてシステムログに記録します（ログは「イベントビューア」などから閲覧可能）。

5 再度有効にするには、「ローカルエリア接続」を右クリックし、「有効にする」を選択します。

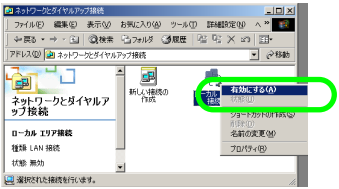


図 4.6.3 「無効にする」を選択

4.7 ドライバーの再インストール

ドライバーの再インストールを行うときは、ドライバーとユーティリティプログラムを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗したときも、インストールされたドライバーを削除してから、再インストールを行います。

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1 「8 ユーティリティープログラムのアンインストール 」の手順にしたがい、本製品のドライバーとユーティリティプログラムを削除します。

2 「4.1 ドライバーの新規インストール 」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールします。

3 「4.3 ユーティリティープログラムのインストール 」の手順にしたがい、ユーティリティプログラムを再インストールします。

4.8 本製品をご使用になる環境

お使いのコンピュータでレジューム機能を使用しているときは、ネットワークに接続中にコンピュータがサスペンド状態になると、ネットワークが切断されることがあります。また、省電力機能をご利用の場合も、ネットワーク動作が不安定になることがあります。このような場合は、レジューム機能，省電力機能を使用しないでください。

ネットワークに接続中に、Windows 2000のシステムスタンバイ機能を使用すると、ネットワークが切断される、あるいはシステムスタンバイ復帰後にネットワーク動作が不安定になることがあります。この場合は、システムスタンバイ機能を使用しないでください。

5 Windows Me へのインストール

本製品のドライバーやユーティリティープログラムを Windows Meにインストールする手順を説明し ます。ここ ではネットワークアダプター用ドライバー を含むネットワーク環境が、Windows Me にまったくインストールされていない状態でインストールする手順を説明します。

インストールは以下の手順で行います。

手順 1：ドライバーをインストールする（「5.1 ドライバーの新規インストール」参照）

手順 2：ユーティリティープログラムをインストールする（「5.3 ユーティリティープログラムのインストール」参照）

手順 3：各種通信設定（詳細設定）を変更する（「7 通信設定の変更（詳細設定）」参照）

注意

以下のインストール手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。

注意

アップデートインストール
すでにWindows 98 で本製品を使用している状態から、Windows Me にアップデートした場合は、「5.5 ドライバーの削除」「8.1 ユーティリティープログラムのアンインストール」の手順に従ってドライバーとユーティリティプログラムを削除し、「5.1 ドライバーの新規インストール」「5.3 ユーティリティープログラムのインストール」を参照して本製品のドライバとユーティリティプログラムを再インストールしてください。また、TCP/IP情報は改めて設定し直してください。

注意

購入時に Windows Me がすでにインストールされているコンピュータ（プリインストール版）をお使いの時は、Windows Meのバックアップ CD-ROM が付属していることをご確認ください。付属していないときは、フロッピーディスクに Windows Meのバックアップを取った後でインストールを始めてください

5.1 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows Me に新規インストールする手順を説明します。

注意

ドライバーのインストールを行う前に、Windows Meがコンピュータにインストールされていること、および本製品がコンピュータに取り付けられていること（「2 取り付け、取り外し」参照）をご確認ください。

1 コンピュータの電源をオンにします。

Windows Me が本製品を自動的に検出し、「新しいハードウェアの追 加ウィザード」が起動します。

2 「ドライバーの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、「次へ」をクリックします。
検索方法の選択画面が表示されます。

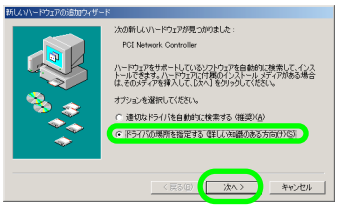


図 5.1.1　ドライバーの場所指定

3 フロッピーディスクドライブに「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」を挿入します。「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」の「検索場所の指定」チェックボックスをチェックし、ドライバーのパスとして「A:\」を入力して「次へ」をクリックします。
必ず「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」のチェックボックスはチェックをはずしておきます。
インストールするドライバーの確認画面が表示されます。

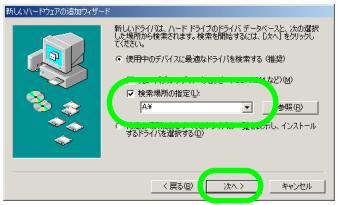


図 5.1.2　検索方法選択

「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名を示します。フロッピーディスクのドライブ名が「A:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください。

4 「デバイス用のドライバファイルの検索」欄に「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」が、「ドライバのある場所」欄に「A:\NETCW10.INF」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
インストールが始まります。

図 5.1.3　ドライバー選択

5 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」が表示されたら、「完了」をクリックします。
コンピュータの再起動を確認する画面が表示されます。

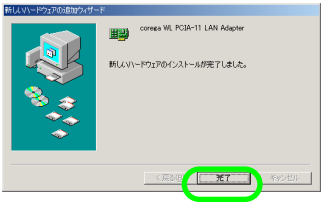


図 5.1.4　インストール完了

6 フロッピーディスクドライブから「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」を抜き、「はい」をクリックしてコンピュータを再起動します。
再起動するかどうかたずねるダイアログ が表示されないときでも、Windows Me を再起動してください。
以上で本製品用のドライバーのインストールは終了です。続けてユーティリティープログラムのインストールを行ってください。

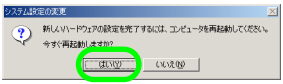


図 5.1.5　コンピュータ再起動確認

注意

ドライバーのインストールに続けて、必ずユーティリティープログラムのインストールを行ってください（「5.3 ユーティリティープログラムのインストール」参照）。ドライバーのインストールだけでは、本製品全ての機能は使用できません。また、アダプターの各種パラメータの設定変更は、ユーティリティープログラムから行います（「7 通信設定の変更（詳細設定）」参照）。「corega WL PCIA-11 LAN Adapter のプロパティ」の「詳細設定」からの設定変更は行わないでください。

5.2 インストール後の確認

インストール完了後、ドライバーが正しくインストールされていることを確認します。

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択し、「システム」をダブルクリックします。

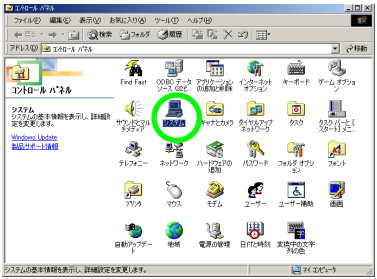


図 5.2.1　システムのプロパティ

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」アイコン左の「+」をクリックします。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」が表示されます。

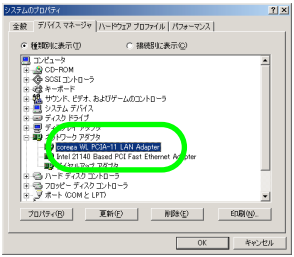


図 5.2.2　ネットワークアダプター確認

注意

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いていたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあるときは、インストールに失敗しています。詳しくは、「9 トラブルシューティング」をご覧ください。

3 「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」をダブルクリックします。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。

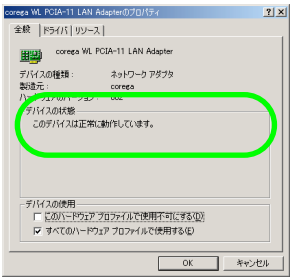


図 5.2.3　デバイスの状態

4 本製品が使用するI/O ベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows MEによって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認できます。

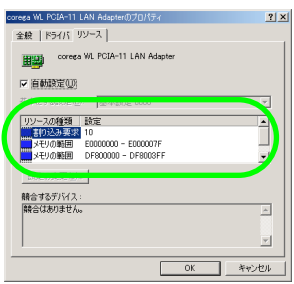


図 5.2.4　リソースの確認

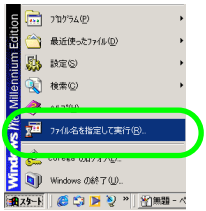
5.3 ユーティリティープログラムのインストール

本製品を無線 LAN システムで使用するための、ユーティリティープログラムのインストールを行います。

注意

全ての Windows アプリケーションプログラムを終了させてから、ユーティリティープログラムのインストールを行ってください。

1 「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行 ...」を選択します。「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。



2 「名前」欄に「A:\SETUP.EXE」と入力し、「OK」をクリックします。インストール開始画面が表示されます。

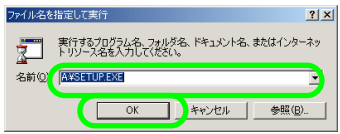


図 5.3.1　SETUP.EXE ファイル指定

「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名を示します。フロッピーディスクのドライブ名が「A:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください。

3 「次へ」をクリックします。
「ソフトウェア使用権許諾契約」画面が表示されます。

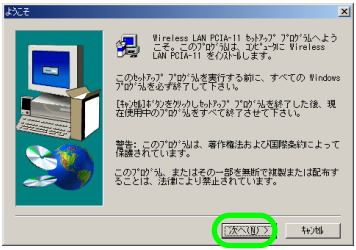


図 5.3.2　インストール開始画面

4 「ソフトウェア使用権許 諾契約」を よくお読みになり、同意の上「はい」をクリックします。

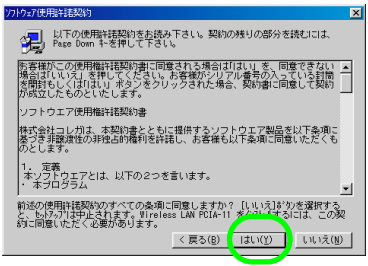


図 5.3.3　ソフトウェア使用権許諾契約

5 「SSID の入力」ダイアログボックスが表示されます。必要に応じて「SSID」を入力し、「次へ」をクリックします(「SSID」のデフォルト値は「corega WL PCC-11」です)。手順 6 で「Infrastructure」モードを設定したときに、ここで設定した SSID が有効になります。後から変更することもできます。
「通信モードの選択」画面が表示されます。

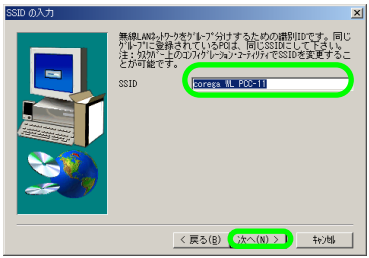


図 5.3.4　SSID 入力

注意 **ここで設定する SSID は、ご使用のアクセスポイントと同じ SSID 名を入力してください。**

注意 **「Infrastructure」モードで使用するときは、セキュリティーをかけるため、SSID をデフォルトから変更してご使用になることをお勧めします。**
SSID を変更するときは、ご使用アクセスポイントのSSID 名も変更する必要があります。

6 通信モードを選択し「次へ」をクリックします。
・Ad-Hoc
本製品を取り付けたコンピュータ同士、または他の無線PC カードを取り付けたコンピュータ同士でネットワーク接続するときに選択します。アクセスポイントを使用しないときは、このモードを選択してください。
・Infrastructure
アクセスポイントを経由して他のコンピュータと通信を行うときに選択します。アクセスポイントを使用する場合は、このモードを選択してください。

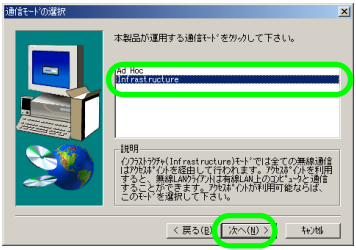


図5.3.5　通信モード選択

7 ユーティリティープログラムのインストール先を変更しないときは、「次へ」をクリックします。
インストール先を変更したいときは、「参照 ...」をクリックして、プログラムをインストールするフォルダーを指定したあとに「次へ」をクリックします。
ユーティリティープログラムのインストールが始まります。

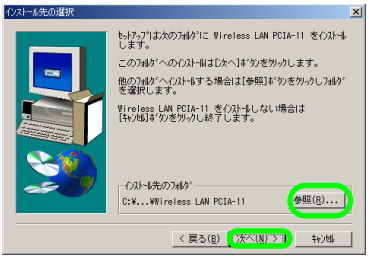


図5.3.6　インストール先変更

8 「次のディスクの挿入」画面が表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップユーティリティーディスク 2 of 2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。
インストール中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します」という画面が表示されたときは、通常、「はい (Y)」をクリックしてください。
インストールが終了すると、「セットアップの完了」画面が表示されます。

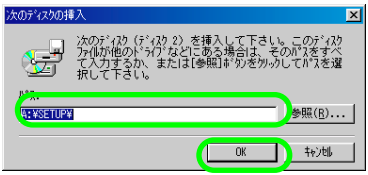


図 5.3.7　フロッピーディスク交換

9 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜いて「完了」をクリックします。
コンピュータが再起動します。ユーティリティープログラムを使用する前に、必ずコンピュータを再起動してください。

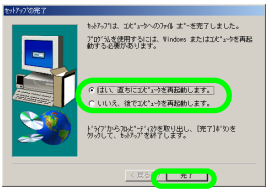


図 5.3.8　再起動確認

10 コンピュータが再起動したら、タスクトレイに無線 LAN アイコンが表示されていることを確認します。
通信モードを「Infrastructure」に設定した場合は、アクセスポイントとの接続情報に従って、表示されるアイコンが異なります。アイコンの種類は以下の通りです。

・「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が良好な場合

図 5.3.9　通信状態良好

•「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が不良な場合

図 5.3.10 通信状態不良

•「Infrastructure」モードでアクセスポイント検索中の場合

図 5.3.11 アクセスポイント検索中

11 本製品を取り付けたコンピュータ同士 (Ad-Hoc) で通信を行うために、本製品とコンピュータをもう 1 セット用意し、これまでのインストールの手順を繰り返します。

12 ネットワーク環境に応じて、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行ってください。これらの設定は、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動することにより行います。
使用するプロトコル、クライアントなどの設定が終了したら、「7 通信設定の変更 (詳細設定)」に進みます。

5.4 ドライバーの更新

弊社の Web ページ（http://www.corega.co.jp/）などから最新のドライバーを入手したときは、下記の手順にしたがってドライバーを更新してください。

1 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。「ネットワークアダプタ」をクリックし、その下に表示される「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」をダブルクリックします。

2 「ドライバ」を選択し、「ドライバの更新」をクリックします。

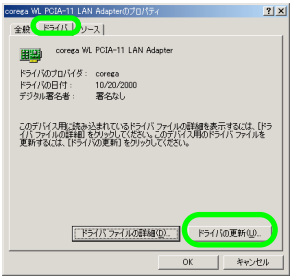


図 5.4.1　ドライバーの更新

3 「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、「次へ」をクリックします。

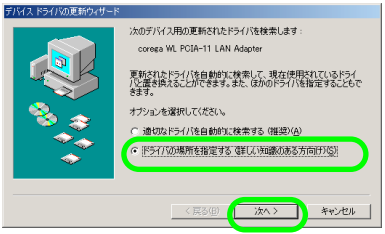


図 5.4.2　ドライバーの場所指定

4 「特定の場所にあるドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。

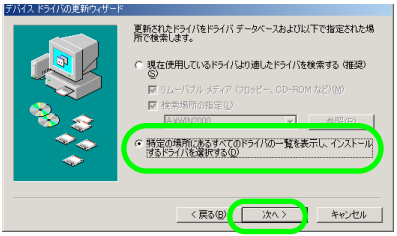


図 5.4.3　ドライバーの一覧表示

5 「ディスク使用」をクリックします。

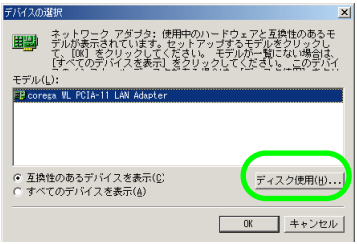


図 5.4.4　ディスク使用

6 本製品の最新ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。「ディスクからのインストール」欄に「A:\」と入力し、「OK」をクリックします。

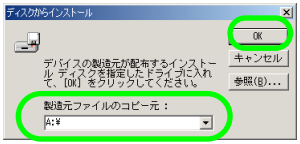


図 5.4.5　ドライバー指定

7 「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」を選択し、「OK」をクリックします。

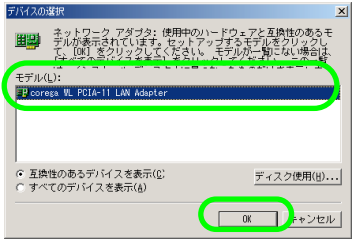


図 5.4.6　デバイスの選択

8 「デバイス用ドライバファイルの検索」欄に「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」が、「ドライバのある場所」に「A:\NETCW10.INF」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
ドライバーの更新が始まります。

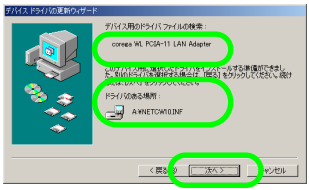


図 5.4.7　ドライバーのインストール

9 ドライバーの更新が終了したら「完了」をクリックします。
コンピュータの再起動を促す画面が表示されます。

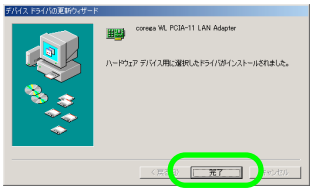


図 5.4.8　インストール完了

10「はい」をクリックし、コンピュータを再起動します。

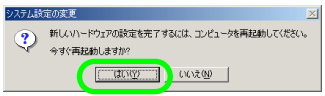


図 5.4.9　コンピュータ再起動

5.5 ドライバーの削除

ドライバーの 削除は、本 製品をコンピュータから取り外してしま いたいときなどに行います。

注意

ドライバーの削除を行う前に、ネットワークアプリケーションを全て終了します。「ネットワークドライブの割り当て」を行っているときは、全て切断してください。

1 「8 ユーティリティープログラムのアンインストール」を参照し、本製品のドライバーとユーティリティプログラムをアンインストールしてください。

5.6 ドライバーの再インストール

ドライバーの 再インストールを行うときは、ドライバーとユーティリティ プログラムを一旦削除して から行います。ドライバーのインストールに失敗した ときも、インスト ールされたドライバーを削除してから再インストールを行います。

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1 「8 ユーティリティープログラムのアンインストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーとユーティリティプログラムを削除します。

2 「5.1 ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールします。

3 「5.3 ユーティリティープログラムのインストール」の手順にしたがい、ユーティリティプログラムを再インストールします。

5.7 本製品をご使用になる環境

お使いのコンピュータでレジューム機能を使用してい るときは、ネットワークに 接続中にコンピュータがサスペンド状態になると、ネットワークが切断されることがあります。また、省電力機能をご利用の場合も、ネットワーク動作が不安定になることがあります。このような場合は、レジューム機能，省電力機能を使用しないでください。

ネットワークに接続中に、Windows Me のシステムスタンバイ機能を使用すると、ネットワークが切 断される、あるいはシステムスタンバイ復帰後にネッ トワーク動作が不安定になること があります。この場合は、システムスタンバイ機能を使用 しないでください。

6 Windows NT へのインストール

本製品のドライバーやユーティリティープログラムをWindows NTにインストールする手順を説明します。

インストールは以下の手順で行います。

手順1：ドライバーをインストールする（「6.2 ドライバーの新規インストール」参照）

手順2：ユーティリティープログラムをインストールする（「6.4 ユーティリティープログラムのインストール」参照）

手順3：各種通信設定（詳細設定）を変更する（「7 通信設定の変更（詳細設定）」参照）

注意

以下のインストール手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。

注意

Windows NTで本製品を使用するときは、お使いのパソコンの BIOS 設定を確認し、「Plug & Play モード」を無効に設定してください（BIOS 設定についての詳細は、お使いのパソコンのマニュアルをご覧ください）。

注意

本製品は Windows NT 4.0 Service Pack 3 以降でご利用いただけます。ご使用のコンピュータの OS に Windows NT 4.0 Service Pack 3 がインストールされていることを確認してください。Windows NT 4.0 のサービスパックの使用状況は、OS 起動時の画面表示、または「Windows NT 診断プログラム」で確認できます。Service Pack 3 がインストールされていないときは、インストールしてください。

注意

購入時に Windows NT がすでにインストールされているコンピュータ（プリインストール版）をお使いの時は、Windows NT のバックアップ CD-ROM が付属していることをご確認ください。付属していないときは、フロッピーディスクに Windows NT のバックアップを取った後でインストールを始めてください。

6.1 サービスパックの確認

本製品をインストールする前に、Windows NT のサービスパック 3 以上がインストールされているかを確認してください。確認の手順は次の通りです。

1 「スタート」メニューから、「プログラム」→「管理ツール」→「Windows NT 診断プログラム」を選択します。

2 「バージョン」タブに表示される、「Service Pack」の数字を確認します。

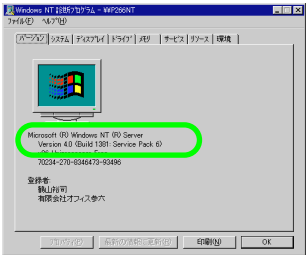


図 6.1.1　Windows NT の Service Pack のバージョン

表示が「Service Pack 3」以上であることを確認します。

注意

本製品のインストール後、コンピュータを再起動する前には、必ず、サービスパックの再インストール（確認したのと同じサービスパックをインストールする）を行ってください。サービスパックをインストールせずにコンピュータを再起動すると、Windows NTが起動できなくなることがあります。

6.2 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows NTに新規インストールする手順を説明します。

注意

ドライバーのインストールを行う前に、Windows NTがコンピュータにインストールされていること、および本製品がコンピュータに取り付けられていること（「2.1　取り付け」参照）をご確認ください。

1 コンピュータの電源をオンにし、「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンします。

2 スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」画面で「ネットワーク」をダブルクリックします。
「ネットワーク」画面が表示されます。

図 6.2.1　コントロールパネル

「ネットワークをインストールしますか？」画面が表示されたときは、マニュアルを参照してインストールを行ってください。

3 「アダプタ」タブを選択し、「追加」をクリックします。
「ネットワークアダプタの選択」画面が表示されます。

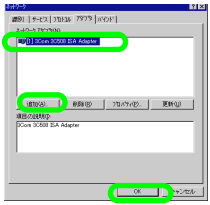


図 6.2.2　ネットワーク

4 「ディスク使用」をクリックします。
「フロッピーディスクの挿入」画面が表示されます。

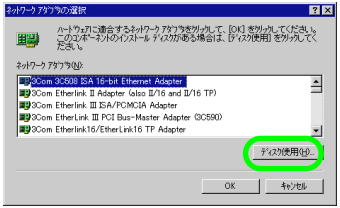


図 6.2.3　アダプター

5 フロッピーディスクドライブに「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」を挿入し、「A:\WINDOWS.NT」と入力して「OK」をクリックします。
「OEM オプションの選択」画面が表示されます。

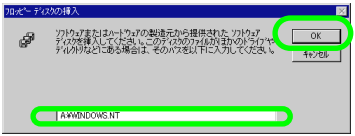


図 6.2.4　ドライバー指定

「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名を示します。フロッピーディスクのドライブ名が「A:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください。

6 「OEM オプションの選択」画面で「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。

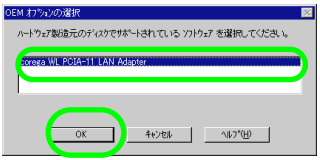


図 6.2.5　ドライバー確認

まだネットワークの設定がされていないときは、「Windows NT セットアップ」画面が表示されます。Windows NT 4.0 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、Windows NT 4.0 システムファイルのパス（例 :D\i386）を指定し、「続行」をクリックします（「D:」は CD-ROM ドライブのドライブ名を示します。CD-ROM ドライブのドライブ名が「D:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください）。

7 本アダプターのドライバーファイル、およびヘルプファイルなどがインストール先にコピーされ、コピーが終了すると「ネットワーク」画面の「ネットワークアダプタ」に「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」が表示されます。

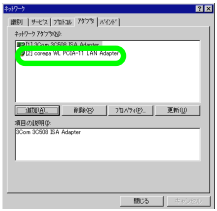


図 6.2.6　ネットワーク画面

8 ネットワーク」画面で「閉じる」をクリックします。
お客様がご使用のプロトコル、またはサービスの設定画面が表示されたときは、お客様の環境に合わせた設定を行ってください。

9 設定を終了し、「OK」をクリックすると、コンピュータの再起動を確認する画面が表示されます。

10 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出してから、「いいえ」をクリックします。
以上で本製品用のドライバーのインストールは終了です。続けてユーティリティープログラムのインストールを行ってください。

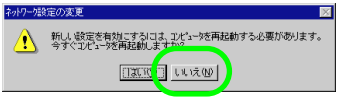


図 6.2.7　コンピュータ再起動確認

注意

ドライバーのインストールに続けて、必ずユーティリティープログラムのインストールを行ってください（「6.4 ユーティリティープログラムのインストール」参照）。ドライバーのインストールだけでは、本製品全ての機能は使用できません。また、アダプターの各種パラメータの設定変更は、ユーティリティープログラムから行います「7 通信設定の変更（詳細設定）」参照）。「corega WL PCIA-11 LAN Adapter のプロパティ」の「詳細設定」からの設定変更は行わないでください。

6.3 インストールの確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態となります。「スタート」→「プログラム」→「管理ツール（共通）」→「Windows NT 診断プログラム」→「リソース」タブで、デバイス「CW10」にインストール時に指定した値が割り当てられていることを確認してください。

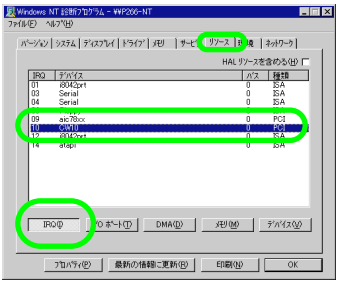


図 6.3.1　リソースの確認（IRQ）

図 6.3.2　リソースの確認（I/O ポート）

6.4 ユーティリティープログラムのインストール

本製品を無線 LAN システムで使用するための、ユーティリティープログ ラムのインストールを行います。

注意

全てのWindows アプリケーションプログラムを終了させてから、ユーティリティープログラムのインストールを行ってください。

注意

Windows NT にユーティリティープログラムをインストールするときは、「Administrator 」、または「Administrator」権限の付与されたユーザーでWindows NT にログインしてください。「Administrator」に関する詳細については、Windows NT のマニュアルを参照してください。

1 「セットアップユーティリティーディスク 1 of 2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行...」を選択します。「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

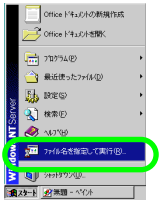


図 6.4.1　ファイル名を指定して実行

2 「名前」欄に「A:\SETUP.EXE」と入力し、「OK」をクリックします。インストール開始画面が表示されます。

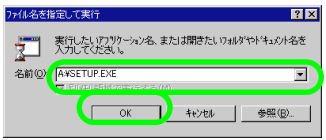


図 6.4.2　SETUP.EXE ファイル指定

「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名を示します。フロッピーディスクのドライブ名が「A:」以外のときは、そのドライブ名を入力してください。

3 「次へ」をクリックします。
「ソフトウェア使用権許諾契約」画面が表示されます。

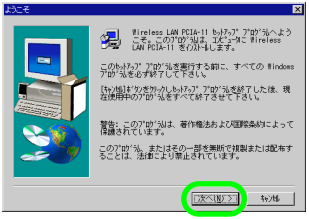


図 6.4.3　インストール開始画面

4 「ソフトウェア使用権許諾契約」をよくお読みになり、同意の上「はい」をクリックします。

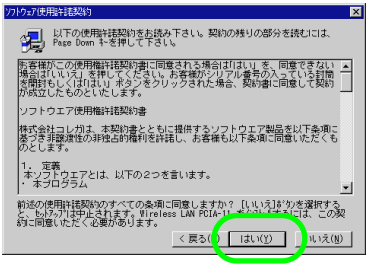


図 6.4.4　ソフトウェア使用権許諾契約

5 「SSID の入力」ダイアログボックスが表示されます。必要に応じて「SSID」を入力し、「次へ」をクリックします(「SSID」のデフォルト値は「corega WL PCC-11」です)。手順 6 で「Infrastructure」モードを設定したときに、ここで設定した SSID が有効になります。後から変更することもできます。
「通信モードの選択」画面が表示されます。

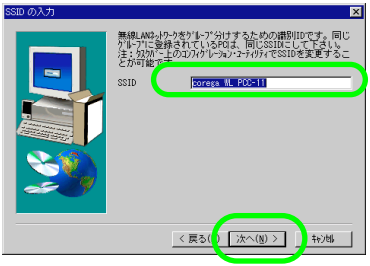


図 6.4.5　SSID 入力

注意

ここで設定する SSID は、ご使用のアクセスポイントと同じ SSID 名を入力してください。

注意

「Infrastructure」モードで使用するときは、セキュリティーをかけるため、SSID をデフォルトから変更してご使用になることをお勧めします。
SSID を変更するときは、ご使用アクセスポイントの SSID 名も変更する必要があります。

6 通信モードを選択し「次へ」をクリックします。

・Ad-Hoc

本製品を取り付けたコンピュータ同士、または他の無線 PC カードを取り付けたコンピュータ同士でネットワーク接続するときに選択します。アクセスポイントを使用しないときは、このモードを選択してください。

・Infrastructure

アクセスポイントを経由して他のコンピュータと通信を行うときに選択します。アクセスポイントを使用する場合は、このモードを選択してください。

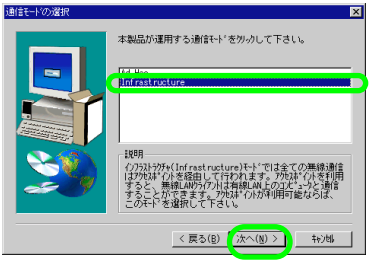


図 6.4.6　通信モード選択

7 ユーティリティープログラムのインストール先を変更しないときは、「次へ」をクリックします。

インストール先を変更したいときは、「参照 ...」をクリックして、プログラム をインストールするフォルダーを指定したあとに「次へ」をクリックします。

ユーティリティープログラムのインストールが始まります。

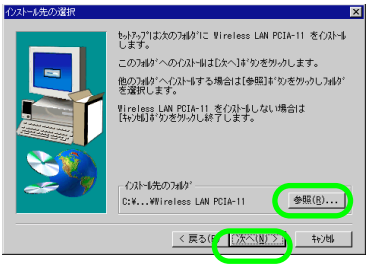


図 6.4.7　インストール先変更

8 「次のディスクの挿入」画面が表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップユーティリティーディスク 2 of 2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。
インストール中に、「新しいファイルがコンピュータに存在します」という画面が表示されたときは、通常、「はい (Y)」をクリックしてください。
インストールが終了すると、「セットアップの完了」画面が表示されます。

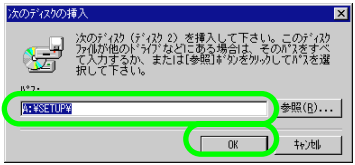


図 6.4.8　フロッピーディスク交換

9 「Configuration Utility をスタートアップに登録しますか？」という画面が表示されたら、通常は「はい」をクリックします。
「Configuration Utility」は、Administrators グループのユーザーだけが使用することができます。Administrators グループ以外のユーザーも本製品を使用する場合は、「いいえ」を選択します。

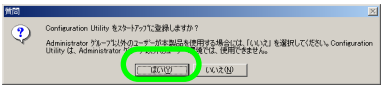


図 6.4.9　Configuration Utility 登録

10 「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」をクリックします。

11 続けてサービスパックの再インストールを行います。
サービスパックのインストール方法は、コンピュータに付属のマニュアルなどを参照してください

12 サービスパックインストール終了後、「再起動」をクリックします。

13 コンピュータが再起動したら、タスクトレイに無線LANアイコンが表示されていることを確認します。
通信モードを「Infrastructure」に設定した場合は、アクセ スポイントとの接続 情報に従って、表示されるアイコンが異なります。アイコンの種類は以下の通りです。

•「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が良好な場合

図 6.4.10 通信状態良好

•「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が不良な場合

図 6.4.11 通信状態不良

•「Infrastructure」モードでアクセスポイント検索中の場合

図 6.4.12 アクセスポイント検索中

14 本製品を取り付けたコンピュータ同士 (Ad-Hoc) で通信を行うために、本製品とコンピュータをもう 1 セット用意し、これまでのインストールの手順を繰り返します。

15 ネットワーク環境に応じて、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行ってください。これらの設定は、「コント ロールパネル」の「ネットワーク」を起動することにより行います。
使用するプロトコル、クライアントなどの設定が終了したら、「7 通信設定の変更 (詳細設定)」に進みます。

6.5 ドライバーの削除

ドライバーの削除は、本製品をコンピュータから取り外してしまいたいときなどに行います。

注意

ドライバーの削除を行う前に、ネットワークアプリケーションを全て終了します。「ネットワークドライブの割り当て」を行っているときは、全て切断してください。

1 「8 ユーティリティープログラムのアンインストール」を参照し、本製品のドライバーとユーティリティプログラムをアンインストールしてください。

6.6 本製品を一時的に使用しない場合

Windows NT にドライバーをインストールした後、本製品を一時的に使用しないときは、下記の手順に従って本製品のドライバーを無効にしてください。

1 「Administrator」権限でログオンします。

2 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

3 「バインド」タブをクリックし、「バインドの表示」で「すべてのアダプタ」を選択します。

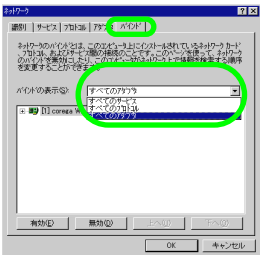


図 6.6.1 「すべてのアダプタ」を選択

4 本製品のアイコン「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」を選択し、「無効」をクリックして「バインドしない」を選択します。

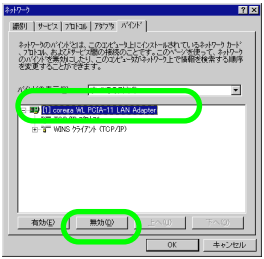


図 6.6.2 「無効」を選択

5 使用を再開するときは、本製品のアイコン「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」を選択し、「有効」をクリックします。

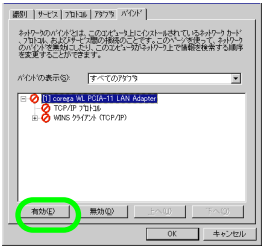


図 6.6.3 「有効」を選択

6.7 ドライバーの再インストール

ドライバーの再インストールを行うときは、ドライバーとユーティリティプログラムを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗したときも、インストールされたドライバーを削除してから再インストールを行います。

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1 「8 ユーティリティープログラムのアンインストール 」の手順にしたがい、本製品のドライバーとユーティリティプログラムを削除します。

2 「6.2 ドライバーの新規インストール 」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールします。

3 「6.4 ユーティリティープログラムのインストール 」の手順にしたがい、ユーティリティプログラムを再インストールします。

6.8 本製品をご使用になる環境

お使いのコンピュータでレジューム機能を使用しているときは、ネットワークに接続中にコンピュータがサスペンド状態になると、ネットワークが切断されることがあります。また、省電力機能をご利用の場合も、ネットワーク動作が不安定になることがあります。このような場合は、レジューム機能，省電力機能を使用しないでください。

ネットワークに接続中に、Windows NT のシステムスタンバイ機能を使用すると、ネットワークが切断される、あるいはシステムスタンバイ復帰後にネットワーク動作が不安定になることがあります。この場合は、システムスタンバイ機能を使用しないでください。

7　通信設定の変更（詳細設定）

ご使用の環境によっては、本製品の通信設定を変更する必要があります。以下の手順にしたがって詳細設定を行ってください。設定の変更は、「Configuration Utility」の設定画面で行います。

注意

製品の各種パラメータの設定変更は、必ず「Configuration Utility」から行います。「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」の「詳細設定」からの設定変更は行わないでください。

7.1 Configuration Utility の起動

1　タスクトレイに表示されている無線 LAN アイコンをクリックします。
タスクトレイに無線 LAN アイコンが表示されていないときは、「スタート」→「プログラム」→「corega WL PCIA-11」→「Configuration Utility」を選択すると、無線 LAN アイコンが表示されます。
「Wireless LAN Configuration Utility」画面が表示されます。

図 7.1.1　無線 LAN アイコン

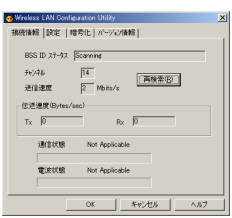


図 7.1.2　Wireless LAN Configuration Utility 画面

7.2 通信設定

「Wireless LAN Configuration Utility」画面の「設定」タブをクリックし、通信に必要な設定を行います。インストール時の設定値は、赤文字で表示されています。変更した項目は黒文字で表示されます。

ここで説明した項目以外は、通常、デフォルトのままで問題ありません。設定変更を行ったら「設定変更する」ボタンをクリックします。

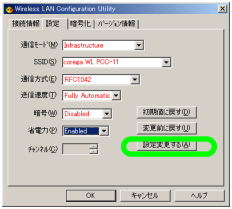


図 7.2.1　Wireless LAN Configuration Utility「設定」タブ

(1) 通信モード

無線 LAN のネットワーク構成を設定します。

・Ad-Hoc

本製品を取り付けたコンピュータ同士、または他の無線 PC カードを取り付けたコンピュータ同士でネットワーク接続するときに選択します。アクセスポイントを使用しないときは、このモードを選択してください。

・Infrastructure

アクセスポイントを経由して他のコンピュータと通信を行うときに選択します。有線ネットワークと 無線ネットワークが統合され 1 つのネットワークとして構成されます。

(2) SSID

無線 LAN ネットワークを構成するコンピュータ同士を識別する名前です。同じネットワークに属するコンピュータ同士は、同じ SSID を設定します。SSID は半角英数文字 32 文字以内で設定します（大文字、小文字も区別されます）。
SSID は、「Infrastructure」モードの場合に、有効になります。
インストール時のデフォルトは、「corega WL PCC-11」です。

注意

「Infrastructure」モードで使用するときは、セキュリティーをかけるため、SSID をデフォルトから変更してご使用になることをお勧めします。

(3) 暗号

40 ビット WEP（Wired Equivalent Privacy）キーによる通信の暗号化を行うときに使用します。WEP キーの作成、設定については、次項「セキュリティーの設定」を参照してください。

・Disabled（デフォルト）

WEP による通信の暗号化を行いません。

・Mandatory

WEP による通信の暗号化を行います。

⑷ チャンネル

無線 LAN 通信で使用するチャンネルを設定します。同じネットワークに属するコンピュータ同士は、同じチャンネルを設定します。
「Infrastructure」モードのときは、SSID が同じアクセスポイントをサーチし、自動的に同じチャンネルに設定します。

注意

既存の無線ネットワークとは別に、新たに無線ネットワークを設置するときは、既存のチャンネルから 1 つ以上 (1、6、11、14 チャンネルの組み合わせでご使用になることをお勧めします) 間隔をあけて設定してください。間隔をあけないと電波の干渉が生じ、通信が正常にできないことがあります。

7.3 セキュリティーの設定

本製品では、無線通信上のデータを保護するために Wired Equivalent Privacy (WEP)による暗号化をサポートしています。WEP は、全ての送信データに対して、暗号化によるセキュリティーとネットワークへのアクセス制御を提供するために、40 ビットキーの組み合わせを 使用します。送信データをデコード（復号化）するためには、ネットワーク上の全ての無線クライアントに同一の 40 ビットキーを設定する必要があります。
本製品では、以下の 2 つの WEP キー (暗号キー) 設定方法をサポートしています。

注意

暗号を使用して通信を行うためには、暗号を使用するグループのコンピュータすべて（アクセスポイントを含む）で、同じ暗号を設定する必要があります。

注意

WEP キーの設定後、「Configuration Utility」を終了し、再度起動したときは、セキュリティーのため「暗号化」タブをクリックしても、設定した「KEY 文字列」や「Default Key」は表示はされませんのでご注意ください。

注意

「Infrastructure」モードで通信する場合は、ご使用のアクセスポイントにも暗号化の設定が必要です。設定方法は、ご使用のアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

7.3.1 キー文字列から WEP キー（暗号キー）を自動生成する

1 「Wireless LAN Configuration Utility」画面で「暗号化」タブをクリックし、「キー文字列」入力テキストボックスに暗号化のキーワード文字列を入力します
キーワードは最大 32 文字までの半角英数文字列を入力できます。大文字、小文字も区別されます。

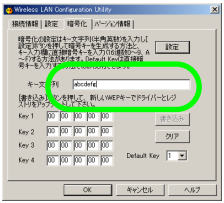


図 7.3.1　Wireless LAN Configuration Utility「暗号化」タブ

2 WEP キーを生成するために、「設定」をクリックします。

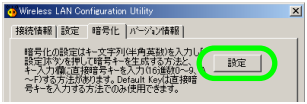


図 7.3.2　WEP キーを生成

3 「書き込み」をクリックし、レジストリーに設定を書き込みます。

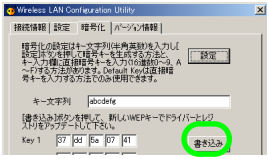


図 7.3.3　レジストリー書き込み

4 暗号化を有効にするために、「設定」タブ内の「暗号」で"Mandatory"を選択し、「設定変更する」をクリックします。

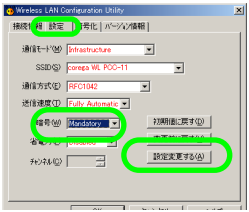


図 7.3.4 設定変更

注意

この方法の場合、「Default Key」の指定は必要ありません。
「Default Key」で指定したとしても、設定は無効となりますのでご了承ください。

7.3.2 WEP キー（暗号キー）を直接入力する

1 「Wireless LAN Configuration Utility」画面で「暗号化」タブをクリックし、「Key1」～「Key4」欄に直接 WEP キーを入力します。
WEP キーは 16 進数の 0～9、A～F で入力します。

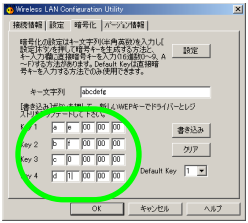


図 7.3.5 Wireless LAN Configuration Utility「暗号化」タブ

2 手順 1 で入力した KEY No を「Default Key」で指定します。

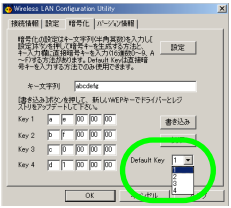


図 7.3.6　Default Key

3「書き込み」ボタンをクリックし、レジストリーに設定を書きこみます。

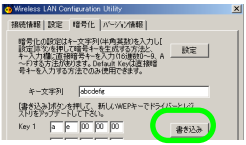


図 7.3.7　レジストリー書き込み

4 暗号化を有効にするために、「設定」タブ内の「暗号」で "Mandatory" を選択し、「設定変更する」ボタンをクリックします。

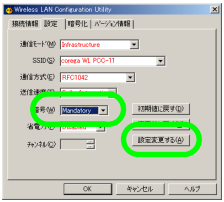


図 7.3.8　設定変更

8　ユーティリティープログラムのアンインストール

ここでは本製品のドライバーとユーティリティープログラムをアンインストールする方法を説明します。
本製品をシステムから削除するためには、ドライバーのアンインストールとユーティリティプログラムのアンインストール作業を実行してください。

注意

最新ドライバーを入手されたときも、下記のアンインストール方法を実行したあとに、最新ドライバーを新規にインストールしてください。

8.1 ユーティリティープログラムのアンインストール

本製品のユーティリティープログラムをアンインストールするには、「Uninstaller」を実行します。「Uninstaller」を実行すると、ユーティリティープログラムがシステムから削除されます。

注意

「Uninstaller」を実行する前に、ネットワークアプリケーションを全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っているときは、全て切断してください。

8.1.1 Windows 98/Me の場合

以下の手順は、Windows Me の例です。Windows 98 でも、アンインストール方法は下記の手順と同様になります。

1 「スタート」→「プログラム」→「corega WL PCIA-11」→「Uninstaller」を選択します。
ドライバーとユーティリティープログラムの削除開始確認画面が表示されます。

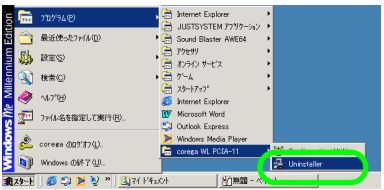


図 8.1.1　Uninstaller 選択

2 「Yes」をクリックします。
削除の際に行われるプロセスが表示されます。

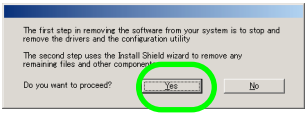

The first step in removing the software from your system is to stop and remove the drivers and the configuration utility.
The second step uses the Install Shield wizard to remove any remaining files and other components.
Do you want to proceed?
Yes
No

図 8.1.2　削除確認

3 「OK」をクリックします。
アンインストールが完了すると、アンインストール完了の確認画面が表示されます。

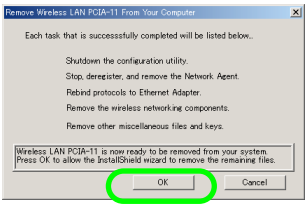

Remove Wireless LAN PCIA-11 From Your Computer
Each task that is successfully completed will be listed below..
Shutdown the configuration utility.
Stop, deregister, and remove the Network Agent.
Rebind protocols to Ethernet Adapter.
Remove the wireless networking components.
Remove other miscellaneous files and keys.
Wireless LAN PCIA-11 is now ready to be removed from your system. Press OK to allow the InstallShield wizard to remove the remaining files.
OK
Cancel

図 8.1.3　削除プロセス

4 「OK」をクリックします。
Uninstaller プログラムが終了します。

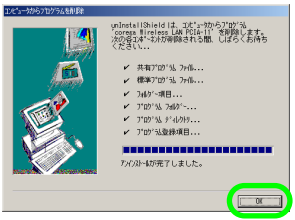


図 8.1.4　アンインストールが完了確認

8.1.2 Windows 2000/NT の場合

以下の手順は、Windows 2000 の例です。Windows NT でも、アンインストール方法は下記の手順と同様になります。

1 「Administrator」、または Administrators グループのユーザー名でログオンします。

2 「スタート」→「プログラム」→「corega WL PCIA-11」→「Uninstaller」を選択します。
ドライバーとユーティリティープログラムの削除開始確認画面が表示されます。

3 「Yes」をクリックします。
削除の際に行われるプロセスが表示されます

4 「OK」をクリックします。
アンインストールが完了すると、アンインストール完了の確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリックします。
Uninstallerプログラムが終了します。

6 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択し、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
「ネットワーク」画面が表示されます。

図8.1.5　コントロールパネル

7 「バインド」タブをクリックします。
「バインドの格納」が行われます。

図8.1.6　ネットワーク

8 「閉じる」をクリックします。
コンピュータの再起動を確認する画面が表示されます。

図 8.1.7　バインドタブ

9 「いいえ」をクリックします。

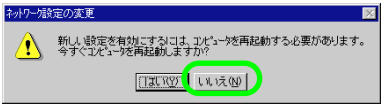


図 8.1.8　コンピュータ再起動確認

10 「スタート」→「シャットダウン」→「コンピュータをシャットダウンする」をクリックします。

9 トラブルシューティング

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処方法を説明します。

9.1 Windows 98/2000/Me/NT4.0 共通

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

■ 本製品を認識しない

Q) ドライバーをインストールしたのに、「デバイスマネージャ」画面（「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブ）の「ネットワークアダプタ」の下に本製品が表示されない。

A)「その他のデバイス」の下に「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」が表示されることがあります。ドライバーインストールの作業中に行われる dll などのファイルのインストールをスキップしてしまったときに、このような症状が起こります。
「その他のデバイス」の下の「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」を選択し、「削除」をクリックしてください。「デバイス削除の確認」では「全ての設定から削除」を選択し、「OK」をクリックします。この操作を行ってから Windows を終了し、数秒待ってから再び電源をオンにしてドライバー再インストールしてください。

■ デバイスマネージャで「×」マークが付く

Q) デバイスマネージャ画面（「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブ）の「ネットワークアダプタ」の下に表示される「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」アイコンに、赤や黄色の「？」、「！」、「×」マークが付いている。

A) 本製品のドライバーが正常に動作していません（ドライバーが正しくインストールされていません）。
「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」を選択し、「削除」をクリックします。「デバイス削除の確認」では「全ての設定から削除」を選択し、「OK」をクリックします。この操作を行ってから Windows を終了し、数秒待ってから再び電源をオンにしてドライバー再インストールしてください。

A) 本アダプターを「無効」に設定しているときも、「×」マークが表示されます。「corega WL PCIA-11 LAN Adapter」アイコンを右クリックし、メニューから「有効」を選択してください。

Q) ドライバーを再インストールしたが、それでもドライバーのアイコンに「?」、「!」、「×」マークが付いている。

A) 他の拡張アダプターとのリソース設定重複の可能性があります。
特に本製品の他に、Plug & Play に対応していない拡張アダプターを使用しているときは、以下のチェックを行い、その拡張アダプターが使用するリソースを Windows に登録します。

1) 本製品以外の拡張アダプターが使用するリソース（インタラプト（IRQ）、I/O ポートアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べます。
詳細は、その拡張アダプターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

2) 拡張アダプターが使用するリソースがわかったら、そのリソースを予約します。
「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」を選択し、「システムのプロパティ」画面で「コンピュータ」を選択し、「プロパティ」をクリックします。「コンピュータのプロパティ」画面が表示されるので、「リソースの予約」タブをクリックし、拡張アダプターが使用するリソースを予約します。
詳細は Windows のオンラインヘルプで " リソースの設定 " を検索し、関連項目を参照してください。

■ ネットワークのトラブル

Q) 本製品のドライバーが正しくインストールされているにも関わらず、通信できない。

A) 次のような原因が考えられます。

1) 使用するプロトコル、クライアントなどの設定が適切でありません。「コントロールパネル」の「ネットワーク」で正しく設定してください。

2) 本製品の LED は点灯していますか？
LED は、本製品が正しくコンピュータに取り付けられ、電源が供給されているときに点灯します。本製品がコンピュータの PC スロットの奥まできちんと挿入されていることを確認してください。

3) 無線 LAN アイコンが「Not Linked（通信不可）」になっていませんか？
LED は点灯しているが、タスクトレイに表示される無線 LAN アイコンの表示が「Not Linked（通信不可）」のときは、次の点を確認してください。

・アクセスポイントに電源が入っていることを確認してください。

・本製品付属の無線アンテナは、正しく取り付けてありますか？
再度確認し、取り付け直してみてください。

・本製品を取り付けたコンピュータとアクセスポイント間の距離を短くしたり、無線アンテナを移動するなどして障害物をなくし、見通しを良くしてください。アクセス

ポイントとの通信品質は Configuration Utility を起動し、「接続情報」タブ内の「通信状態」を表示することで確認できます。

4) 無線 LAN アイコンの表示が「Linked（通信可能）」になっているが、接続先のコンピュータと通信ができないときは次の点を確認してください。

・本製品の「チャンネル」の設定を確認してください。ネットワーク接続するコンピュータ / アクセスポイントのチャンネルは同じでなければなりません。また、複数の無線ネットワーク（チャンネル）を使用しているときは、それぞれの無線ネットワークが使用するチャンネルは１つ以上 (*) 間隔をあけて設定してください。間隔をあけていないときは、電波の干渉が生じ、通信が正常にできないことがあります。
*　1、6、11、14 チャンネルの組み合わせでご使用になることをお勧めします。

・本製品の「SSID」の設定を確認してください。ネットワーク接続するコンピュータ / アクセスポイントの SSID は、同じ ID でなければなりません。

・本製品の「暗号化」の設定を確認してください。ネットワーク接続するコンピュータ / アクセスポイントの暗号化の設定は同じでなければなりません。

・本製品を取り付けたコンピュータとアクセスポイント間の距離を短くしたり、無線アンテナを移動するなどして障害物をなくし、見通しを良くしてください。アクセスポイントとの通信品質は Configuration Utility を起動し、「接続情報」タブ内の「通信状態」を表示することにより確認できます。

・同じフロア内に複数のアクセスポイントが存在しているときは、すべての アクセスポイントのチャンネル番号を違う値に設定してください。
チャンネル番号を 1 チャンネルずつ変更してみてください。お客様の環境によっては、チャンネル番号を変更することで改善できる場合もあります。
それでも改善されないときは、それぞれのアクセスポイントを、1、6、11、14チャンネルの組み合わせでご使用になることをお勧めします。

■ DHCP メッセージが表示される

Q) インストール中に、「この DHCP クライアントは DHCP サーバから IP ネットワークアドレスを取得できませんでした。今後も DHCP メッセージを表示しますか？」と表示されたときは？

A)「いいえ」を選択してください。無線 LAN ネットワーク環境で TCP/IP 環境をご使用になっているときは、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。

9.2 Windows 2000/NT 共通

■ 無線アイコンが表示されない

Q) 本製品のドライバーが正しくインストールされているにも関わらず、無線アイコンが表示されない（「Configuration Utility」が起動しない）。

A) 「Administrator」または Administrators グループ以外のユーザ名でログオンしています。「Configuration Utility」は、Administrators グループ以外のユーザは使用できません。「Administrator」または、Administrators グループのユーザ名でログインし直してください。

A) コンピュータの機種によって、ドライバー / ユーティリティーインストール直後の初回起動時に、「Configuration Utility」が起動しないことがあります。そのときは一度OSをシャットダウンし、再起動してください。

■ 無線 LAN カードのレジストリ・キーが見つからない

Q) 起動時に「無線 LAN カードのレジストリ・キーを見つけることができません」と表示される。

A) ユーティリティープログラムをインストールしたあと、「Administrator」または「Administrator」権限を持ったユーザ以外でログインしたときに、上記のメッセージが表示されます。
「Administrator」または「Administrator」権限を持ったユーザ以外では、ユーティリティープログラムの起動や設定内容の変更は行えません。「Administrator」または「Administrator」権限を持ったユーザでログインし、「スタート」→「プログラム」→「スタートアップ」から「Configuration Utility」のショートカットを削除してください。

9.3 Windows 2000

■ ネットワークのトラブル

Q) 本製品のドライバーが正しくインストールされているにも関わらず、通信できない。

A) 使用するプロトコル、クライアントなどの設定が適切でありません。次のチェックを行い、設定を確認してください。

1) 「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」から該当する「ローカルエリア接続」アイコンをダブルクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。

2) 「接続の方法」に「corega WL PCIA-11 LAN Card」が表示されていることを確認します。

3) 「インストール」、「削除」、「プロパティ」ボタンで、本製品が接続するネットワークの設定（プロトコル、クライアント等）を行います。

お客様のネットワーク環境に応じて設定してください。
ネットワークの設定に関する詳細は、システム管理者にご相談ください。

9.4 Windows NT

■ ドライバーのインストールの確認

Q) ドライバーが正しくインストールされたことを確認するには？

A) Windows NT 診断プログラムで確認します。
ドライバーが正しくインストールされたときは、本製品に対してリソース（I/O アドレス、割り込み）が割り当てられます。割り当てられた値を確認するには Windows NT 診断プログラムを使用します。手順は次の通りです。

1) 「Administrator」または Administrators グループのユーザ名でログオンします。

2) 「スタート」メニューから「プログラム」→「管理ツール」→「Windows NT 診断プログラム」を選択します。

3) 「リソース」タブをクリックし、「IRQ」、「I/O ポート」ボタンをクリックして、"CW10" が登録されていることを確認します。登録されていないときはドライバーのインストールが失敗しています。

ドライバーのインストールが失敗しているときは、ドライバーをアンインストールし、再度、ドライバーのインストールを行います。

A)「コントロールパネル」→「ネットワーク」で確認します。
「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンを選択し、「アダプタ」タブをクリックして「ネットワークアダプタ」に「corega WL PCIA-11 LAN Card」が表示されていることを確認します。表示されていないときは、ドライバーのインストールが失敗しています。再度、ドライバーのインストールを行ってください。

付録A 製品仕様

■ ハードウェア仕様

- PCI インターフェース：PCI ローカルバス仕様 Rev.2.1
- 無線インターフェース（国際規格）：IEEE802.11/IEEE802.11b
  （国内規格）：ARIB STD-T66/STD-T33 準拠

■ 機械的仕様

- 外形：
  ネットワークアダプター：150 (W) x 120 (D) x 18 (H) mm
  無線アンテナ：76 (W) x 76 (D) x 31 (H) mm
- 重量：
  ネットワークアダプター：110g（国内規格）
  無線アンテナ：80g

■ 電気的仕様

- 動作電圧：DC +5V（± 5%）
- 消費電流：送信時 370 mA (MAX) / 受信時 300 mA (MAX)
- 消費電力：最大 1.5 W
- 発熱量：最大 1.3Kcal/h

■ 環境条件

- 動作保証温度：0 ～ 55 ℃
- 保存温度：-20 ～60 ℃
- 動作・保存湿度：95% 以下（ただし結露なきこと）

■ 電気雑音の発生防止

- 取得承認：EMI 規格 VCCI クラス B

付録 B 保証と修理について

B.1 保証について

本書に記載さ れている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご 使用ください。無条件で本 製品を保証するということではありま せん。正しい使用方法 で使用した 場合のみ、保証の対象 となります。また、物理 的な破損等が 見受けられる場 合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品（ドライバーディスクは除く）の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

B.2 修理について

故障と思われ る現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正 しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、巻末の「調査依頼書」をコピーした ものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛てに製品を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

- 弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅急便などの送付状の控 えが残る方法で送付願います。（普通郵便による送 付は、固くお断りいたします。）
- 修理期間は、製品到着後、約 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ 製品送付先

〒 222-0033　横浜市港北区新横浜 1-19-20

（株）コレガ　corega サポートセンター宛

付録 C ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「C.1 調査依頼書の記入について」をご覧ください。

Tel: 045-476-6268
10:00-12:00、13:00-17:00　月～金（祝・祭日を除く）

Fax: 045-476-6294
年中無休 24 時間

電子メールでのユーザーサポートの受付および対応は、実施しておりません。上記のいずれかの方法でお問い合せください。

C.1 調査依頼書の記入について

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも、以下の点にそって十分な情報をお知らせください。記入用紙に書き切れない場合は、別途プリントアウトなどを添付してください。

■ ハードウエアとソフトウエア

- 本アダプター上に貼られたラベルに記入されているシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev）を調査依頼書に記入してください。

- ご使用になっているソフトウエアの種類／バージョン（Ver.）を記入してください。これらは、ドライバーディスクのラベル上に記入されています。
- 他社のインターフェースボードやユーティリティーをご使用の場合は全てご記入ください。
- 接続しているサーバの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

■ お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容をプリントアウトしたものなどを添付してください。

- 障害などが発生する場合には、本アダプターと併用されているユーティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

■ ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

C.2 システムリソースレポート添付のお願い

お問い合わせの際には可能な限り、システムリソースレポート（お使いのパソコンの詳細情報を OS が自動作成するレポート）を出力の上、「調査依頼書」に添付いただきますようお願いいたします。システムリソースレポートを出力する手順は以下の通りです。

■ Windows ME/98 の場合

1 コントロールパネルの「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブを選択します。

2 「印刷」ボタンをクリックします。

3 「レポートの種類」から「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択し、「OK」をクリックします。以後、画面の指示にしたがってください。

■ Windows 2000 の場合

1 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」を選択します。

2 「システムツール」→「システム情報」の下にある「ハードウェアリソース」を右クリックし、「印刷」をクリックします。

■ Windows NT 4.0 の場合

1 「スタート」→「プログラム」→「管理ツール（共通）」→「Windows NT 診断プログラム」を選択します。

2 「印刷」ボタンをクリックします。

3 「範囲」から「すべてのタブ」を、「詳細レベル」から「完全」を選択し、「OK」をクリックします。以後、画面の指示にしたがってください。

付録 D 最新ドライバーの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーは、弊社のホームページから入手することができます。また、このホームページでは FAQ、パソコンの動作検証リストなどの情報もご案内しておりますので、ぜひご覧ください。

1 Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを使用して、次のアドレスにアクセスしてください。

http://www.corega.co.jp/

2 「ダウンロード」→「各種ドライバ」をクリックします。

3 ご希望のドライバーをクリックしてください。

付録 E 「corega Net-News」のご案内

「corega Net-News」は、株式会社コレガがお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客様は、corega ホームページでご登録ください。なお、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2000 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に 掲載しているソフトウェアおよび周辺機 器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2000 年 12 月　Rev.A　初版

調査依頼書 (corega Wireless LAN PCIA-11 1/2)

年　月　日

一般事項

1. 会社名（個人名）：　　フリガナ：
   部署名：　　ご担当者：
   ご連絡先住所：〒

   TEL:（　　）　　FAX:（　　）
2. 購入先：　　購入年月日：
   購入先担当者：　　購入先 TEL:（　　）

ハードウエアとソフトウエア

1. ご使用のハードウエア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

   製品名：corega **Wireless LAN PCIA-11**　　S/N_____ Rev___

   ドライバディスクのバージョン Ver. _____ pl ____

2. ご使用のコンピュータ機種と併用している他メーカーの拡張アダプター（ボード）
   コンピュータのメーカー名／機種：
   OSとバージョン：
   拡張アダプタのメーカー名／機種：

3. ご使用のサーバー機種（UNIX、NetWare、Windows NTなど）
   コンピュータのメーカー名／機種：
   OSとバージョン：

お問い合わせ内容

□別紙あり　□別紙なし
□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

調査依頼書 (corega Wireless LAN PCIA-11 2/2)

年　月　日

ネットワーク構成

□別紙あり □別紙なし
簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

・本製品本体（無線アンテナを含む）:製品保証書に記載の“保証期間”で無償保証とします。（ただし、本規定の他の条項に準じます。）

・本体付属品（ドライバーディスク）：3ヶ月間保証

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）

1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、静電気、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の機器が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■本製品に付属のドライバー・ソフトウェアが他社の提供するハードウェア、またはアプリケーション・ソフトウェアと共有できるという動作保証、および使用によるその他の損害についての保証は行いません。

■本ハードウェアが他社の提供するソフトウェア、またはアプリケーション・ソフトウェアと共有できるという動作保証、および使用によるその他の損害についての保証は行いません。

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書（1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製品名　corega Wireless LAN PCIA-11

シリアル番号
（S/N）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先

coregaサポートセンター
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-19-20
TEL：045-476-6268
受け付け時間： 10:00～12:00/13:00～17:00
月～金（祝・祭日を除く）
FAX：045-476-6294　年中無休24時間

販売店様印

※ 本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印が無い場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。
※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。